

平成28年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00489 ）

事務事業名称		科学館の維持管理			款	07	項	01	目	04	事業	002	整理番号	503	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			科学館			連絡先電話番号	1665	昨年度整理番号	509	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度													
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分	施設維持管理		
	対象	科学館の施設・設備の利用者			根拠法令等	(1)		杉並区立科学館条例							
						(2)		杉並区立科学館条例施行規則							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	科学館の施設・設備を良好な状態に保つことにより、利用者が安全で快適なサービスの提供を受けられるようにする。			活動指標	指標名（ 1 ）		年間開館日数							
					指標説明										
				指標名（ 2 ）			年間延べ利用者数								
				指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	科学館の施設・設備が常時良好な状態になるように維持管理を行う。			成果指標	指標名（ 1 ）										
					指標説明										
				指標名（ 2 ）											
				指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（ 1 ）	1 日	295	296	296	292	295	0	101.0						
	活動指標（ 2 ）	2 人	33,095	33,100	32,804	5,840	5,781	0	99.0						
	成果指標（ 1 ）	3													
	成果指標（ 2 ）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	31,493	31,622	31,619	22,280	21,872	0	平成27年度予算執行率（%）	98.2					
	（内）投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7 千円	21,103	21,688	21,687	15,993	15,587	0	科学館における事業は平成26年度をもって廃止し、平成27年度は実験室等の貸出のみを行った。						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.93	1.80	1.62	0.20	1.70	0.00						
		再任用職員数	9 人	0.76	0.70	1.74	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	16,656	15,858	14,272	1,762	14,870	0						
		再任用職員分	12 千円	2,934	2,835	7,047	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費（5+11+12+13）	14 千円	51,083	50,315	52,938	24,042	36,742	0							
	単位当たりコスト（(14-6)÷1）	15 円	173,163	169,983	178,845	82,336	124,549	0							
	財源	受益者負担分	16 千円	38	43	76	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計（16+17+18+19）		20 千円	38	43	76	0	0	0							
差引：一般財源（14-20）		21 千円	51,045	50,272	52,862	24,042	36,742	0							
受益者負担比率（16÷14）	22 %	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 503

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	施設保守管理委託			15,455
		光熱水費			5,003
		科学館閉館セミナー用経費			117
		維持管理経費			1,297
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	平成27年度は、建物の良好な状態を維持するために、建物の維持管理業務の委託や各種保守点検を継続して行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	平成27年度は、展示室の開放や実験室等の貸出のため、引続き施設や設備の保全に努め、良好な利用に供することができました。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00517)

事務事業名称		社会教育委員			款	07	項	05	目	01	事業	001	整理番号	531	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			管理係			連絡先電話番号	1663	昨年度整理番号	541	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課													
	対象	社会教育関係施設及び社会教育関係団体・指導者等区民			根拠法令等	(1)	社会教育法第15～18条								
						(2)	杉並区社会教育委員の設置に関する条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育団体への補助金交付に対する意見を述べたり、諮問に応じた答申や、調査・研究をもとに提言などを教育委員会に対して行うことにより、社会教育活動の向上、活性化を図る。			活動指標	会議開催回数									
				指標名(1)											
				指標説明	延べ会議出席委員数										
				指標名(2)											
				指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験者合計9名以内で構成し(任期2年)、社会教育の振興のための調査・研究などの活動を行い、必要な場合は教育委員会に対して答申や提言などを行う。			成果指標	NPO法人認証団体数										
				指標名(1)											
				指標説明	「社会教育の推進」と「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」の分野に関わるNPO法人認証団体数										
				指標名(2)											
				指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	1 回	7	12	6	12	8	12	66.7						
	活動指標(2)	2 人	47	108	70	108	67	108	62.0						
	成果指標(1)	3 団体	318	320	341	330	345	350	104.5						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	999	1,824	1,140	1,866	1,118	1,815	平成27年度 予算執行率(%)	59.9					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	276	387	242	429	280	462							
	職員数	常勤職員数	8 人	0.92	0.90	0.90	0.90	1.10	1.30						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.08	0.10	0.10	0.10	0.10	0.80						
	人件費	常勤職員分	11 千円	7,940	7,929	7,929	7,929	9,622	11,371						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	222	283	283	283	294	2,348						
	総事業費	14 千円	9,161	10,036	9,352	10,078	11,034	15,534							
	単位当たりコスト	15 円	1,308,714	836,333	1,558,667	839,833	1,379,250	1,294,500							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源		21 千円	9,161	10,036	9,352	10,078	11,034	15,534							
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 531

平成27年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	社会教育委員報酬の支出		67	人
社会教育委員の会議録作成委託		12	時間	262	
通信費、事務費				31	
その他（託児世話人謝礼の支出）				4	
(2) 事業実績	<p>今年度は、新たにスタートした杉並区実行計画の具体化に関わる2か年間にあたり、生涯学習担当部門にあっては、科学教育の推進役の社会教育センターによる事業運営、また「新たな科学教育の拠点等の検討」を計画的に進めました。区の科学教育にとって大きな転換期であるため、事業の実態や成果等の報告をもとに、社会教育の観点から科学教育事業の推進にあたり事業の充実につなげるため、社会教育委員の会議の意見を反映しています。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>社会教育委員の会議は、平成2年度の制度発足以来、14期目を終わりました。これまで区民の生涯学習環境の整備や、社会教育関係団体等の活動支援など、区の社会教育行政に対して提言や答申を行ったり、新たな教育ビジョン・同推進計画等における社会教育分野での取組に一定の方向性を示したりしてきました。近年は杉並区社会教育委員の設置に関する条例の改正等、地方分権の推進に伴う対応を図ってきましたが、社会教育については地域の自主性や自立性に見合った区独自の在り方が求められています。</p> <p>社会教育活動に関わる区内NPO法人数 H15.3.31 104 H28.3.31 345</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>区民の学習活動や関わる関連部署が多様になるなど、区民や地域の中に生涯学習社会への理解が広がりがつつある中で、社会教育に対する認知度や関心が捉えにくくなる状況にあります。このため、社会教育委員が、社会教育関係機関や社会教育関係団体等との意見交換を通じて、地域社会がどう変わり、区民が何を求めているかを模索することが望まれます。</p>
	今後の予測	<p>区立施設再編整備計画等の進展等に伴い、社会教育関係施設をはじめとする区民の学習・教育環境にも変化が生じてきていることから、従来の学級・講座のようなスタイルではない新たなコミュニケーションの方法や手法を駆使して学びの場や機会を設定することが必要になります。</p>
評価と課題	<p>誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、多様な学びの機会を提供するとともに、区民が主体的に社会活動に関わることができるようにすることをめざしています。このため、区民一人ひとりの可能性や新たな地域課題の発見に重点をおき、身近なところで話し合いや地域での主体的な実践を通じた学びを促す事業展開の検討が必要です。</p>	

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>次世代型科学教育事業の実施状況等を踏まえ、より豊かな教育の実現に向けた課題の抽出や解決のため、身近な地域施設等を活用した今後の生涯学習事業の展開について、社会教育委員の会議の意見を聴取しながら検討を進め、平成28年度末までに第14期社会教育委員の会議のまとめを作成し、社会教育の充実に結び付けていきます。</p>	

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	532
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託	16,176	時間	16,087
		光熱水費	2	所	1,237
		清掃業務委託	762	m ²	411
		電子複写機使用料	2	台	357
		その他(電話料、機器保守委託等維持管理費)			1,662
	(2) 事業実績	ゆうゆうハウス2施設の運営業務委託、維持管理及び物品の整備等を行い、区民の学習活動等を支援しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人学習室利用率(個人学習室利用者数/個人学習室席数) (西田:H11~13 90%超、H25 70.3%、H26 73.4%、H27 72.5%) (杉九:H11~13 100%超、H25 78.0%、H26 86.5%、H27 85.7%)			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	他の地域における学習の場の設置、空調機の改善・パソコン等電子機器利用のための設備(電源・Wi-Fiほか)を整備してほしいなどの要望が寄せられています。			
	今後の予測	児童数の変化等により、学校によっては教室が不足することが予測されており、余裕教室の活用という設置の趣旨に基づき、施設としてのあり方を検討する必要があります。 また、設備の老朽化が進み頻繁に発生する故障等への対応を、予算面も含めて計画的に行っていく必要があります。			
	評価と課題	個人学習室はここ数年70%から80%台の利用率で推移しており、その需要は根強く一定の成果をあげています。しかしながら区内2か所のみを設置のため、全域の需要に応えられない状況の改善や、児童数の変化及び区立施設再編整備計画など小学校を取り巻く環境の変化などへの対応が必要になっています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
	今後の進め方	学校を取り巻く環境や生涯学習の活動の場に対するニーズの変化等を踏まえながら、現在の2施設がより活発に利用されるよう、老朽化した設備への対応を計画的に行い、良好な学習環境の維持・管理に努めます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00519)

事務事業名称 社会教育の振興			款 07	項 05	目 01	事業 003	整理番号 533			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 管理係		連絡先電話番号 1662		昨年度整理番号 543				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事務事業の概要	事業開始	平成 8年度								
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課				事業評価区分 一般				
	対象	社会教育活動を行う個人及び団体		根拠法令等 (1)	杉並区教育委員会後援等名義使用承認事務取扱要綱					
				(2)	杉並区生涯学習活動の指導者傷害保険取扱要綱					
事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の生涯学習活動の活性化と、社会教育関係団体の活動を支援するとともに、区内の高等教育機関と行政や地域との連携協働を推進する。 次世代を担う子どもが、名寄市での自然交流体験を通して、健やかに成長することができるように支援する。		活動指標		生涯学習指導者傷害保険加入指導者数					
			指標名(1)							
			指標説明		大学連携協働推進協議会等開催回数					
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	教育委員会後援等名義使用承認による社会教育関係団体の活動支援 区と区内高等教育機関(明治大学・高千穂大学・女子美術大学・東京立正短期大学・立教女学院短期大学・東京女子大学)との包括協定(平成23年12月2日締結)に基づく連携協働の推進 生涯学習活動の指導者傷害保険への加入による団体指導者等への活動の支援 小学生名寄自然体験交流 小学5、6年生25名 北海道名寄市に派遣(2泊3日)		指標名(2)		指導者傷害保険加入団体会員数					
			成果指標							
			指標説明		後援名義使用承認事業数					
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成25年度実績	平成26年度計画	平成26年度実績	平成27年度計画(目標値)	平成27年度実績	平成28年度計画	平成27年度対計画比(%)	
	活動指標(1)	1 人	3,821	5,000	3,700	5,000	3,730	5,000	74.6	
	活動指標(2)	2 件	4	20	3	5	5	5	100.0	
	成果指標(1)	3 人	61,906	70,000	60,265	70,000	60,520	70,000	86.5	
	成果指標(2)	4 件	154	150	152	150	152	150	101.3	
	事業費	5 千円	4,441	6,099	5,649	6,535	5,444	7,203	平成27年度予算執行率(%) 83.3	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	2,016	2,930	2,929	3,552	3,317	3,131		
	職員数	常勤職員数	8 人	2.00	1.80	2.00	2.00	2.10	2.00	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.28	0.20	0.20	0.20	0.20	0.60	
	人件費	常勤職員分	11 千円	17,260	15,858	17,620	17,620	18,369	17,494	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	778	566	566	566	587	1,761	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	22,479	22,523	23,835	24,721	24,400	26,458		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	5,883	4,505	6,442	4,944	6,542	5,292		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0	
		特定財源計(16+17+18+19)	20 千円	0	0	0	0	0	0	
		差引:一般財源(14-20)	21 千円	22,479	22,523	23,835	24,721	24,400	26,458	
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	533
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		小学生名寄自然体験交流	25	人	3,996
		生涯学習活動を行う指導者を対象とした傷害保険料の支出	3,730	人	615
		連携協議会開催	5	回	6
		通信費・管理事務費ほか			827
		その他()			
(2) 事業実績	<p>小学生名寄自然体験交流事業については、次世代育成基金を活用し、小学生25名を交流都市である名寄市に派遣し、国内最大級の望遠鏡での観測や豊かで厳しい自然と現地の子ども達との交流を体験することで、科学への知的好奇心や豊かな人間性を育み、将来の夢に向かって健やかに成長できるよう支援しました。</p> <p>区内6大学による連携協働事業を通して、すぎなみフェスタ2015の実施に協力するとともに、包括協定のもと、今後の新たな取組についての検討等を行いました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>小学生名寄自然体験交流事業を平成24年度より開始 生涯学習活動の指導者傷害保険 契約人数(1日あたりの稼動人数) H23:75団体3,815人、H24:74団体3,805人、H25:78団体3,821人、H26:77団体3,700人、H27:82団体3,730人。 後援等名義使用承認件数 H23:129件、H24:126件、H25:154件、H26:152件、H27:152件。 杉並区と区内高等教育機関との連携協働推進協議会開催延回数 H23 7回、H24 3回、H25 4回、H26 3回、H27 5回。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>児童の体験や成長を多くの子どもたちに還元するとともに、広く区民の方にも学習成果発表会へ参加いただけるようPRの充実を図ることが求められています。 指導者傷害保険については、区民が安全に安心して活動できる環境に貢献しており、今後も継続的な展開が望まれています。 後援等名義使用承認については、広報紙掲載等による団体活動の支援となっているのご意見をいただいています。</p>			
	今後の予測	<p>次世代育成基金の活用による事業によって、子どもたちの将来の夢に向かった健やかな成長の場を創出することができます。 区民や社会教育関係団体による自主的な社会教育活動が、区の様々な所管課の事務事業と関連しながら展開され、区民の生涯学習意欲の一助を担うことができます。</p>			
評価と課題	<p>小学生名寄自然体験交流事業は、年々内容の充実が図られ、今後も交流がさらに深まるよう継続的な事業展開を図ることが必要です。 傷害保険は、今後も各保険会社の保険を比較し、補償内容の質を下げることなくコスト圧縮を図る必要があります。 後援等名義使用承認による団体の活動支援においては、多様化する区民の生涯学習活動の内容に対応するため、様々な所管課との調整を図りながら支援に取り組むことが求められています。 区内6大学による連携協働は、情報提供の仕方を工夫することで学生による地域での活動を支援し、その成果として地域での取組の活性化を図るなど、連携事業の進め方を検討していきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)		
今後の進め方	<p>小学生名寄自然体験交流事業は、参加児童が貴重な体験や学習を通じて自らを成長させるのみならず、その成果を学校・家庭・地域に広げて行うという基本的考え方に基づき、参加児童によるOB・OG会の発足など継続的な関わりが持てるような環境を整備し、事業を推進していきます。 傷害保険については、契約にあたっての保険の比較を徹底し、コストの適正化を図ります。 後援等名義使用承認は、区長部局との継続した情報共有と連絡調整を行い、承認基準等についての整合性を図り、多様化する区民の生涯学習活動の支援に取り組めます。 区と区内高等教育機関との連携協働推進は、大学による取組と地域課題解決のための様々な取組とのマッチングを進めていきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00520)

事務事業名称 学校開放施設の団体・区民利用等			款 07	項 05	目 01	事業 004	整理番号 534				
現担当課名 学校支援課		係名 学校開放担当係	連絡先電話番号 1646		昨年度整理番号 544						
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和58年度									
	平成27年度担当課名	学校支援課						事業評価区分 一般			
	対象	区内在住・在勤・在学者	根拠法令等 (1) 社会教育法第44、45、47、48条 (2) スポーツ振興法第13条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	学校施設を区民のスポーツ・文化活動や遊び、憩いの場として有効に活用するとともに、区民の自主的活動を活発にし、学校を中心とした地域のコミュニティ意識の高揚を図る。	活動指標 指標名(1) 学校開放延開放回数(遊びと憩いの場・登録団体・プール) 指標説明 学校開放登録者総数 指標名(2)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	「遊びと憩いの場」として、小学校(杉十小学校、杉並和泉学園を除く)の校庭を、水、土、日曜日、祝日、学校休業日(年末年始を除く)の決められた時間に、児童及幼児、高齢者に開放する。スポーツ・文化活動の場として、児童及び生徒が使用していない時間に、小・中学校の校庭(杉十小学校を除く)・体育館・教室を、登録した団体に開放する。身近に利用できる遊泳場として、一部の小・中学校のプールを夏休みの一定期間に開放する。	成果指標 指標名(1) 遊びと憩いの場延べ利用者数 指標説明 指標名(2) 登録団体延べ利用者数 指標説明								
区分	単位	平成25年度実績	平成26年度計画	平成26年度実績	平成27年度計画(目標値)	平成27年度実績	平成28年度計画	平成27年度対計画比(%)			
指標	活動指標(1)	1 回	36,239	38,000	35,465	38,000	33,543	38,000	88.3		
	活動指標(2)	2 人	18,409	19,000	16,272	17,000	16,535	17,000	97.3		
	成果指標(1)	3 人	144,257	150,000	133,018	140,000	131,449	140,000	93.9		
	成果指標(2)	4 人	792,194	800,000	790,470	800,000	784,861	800,000	98.1		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	94,939	99,175	88,241	86,997	85,192	88,934	平成27年度予算執行率(%) 97.9		
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成27年1月、登録団体の使用料について改定を行いました。		
	(内)委託費	7 千円	37,215	34,647	28,615	27,751	26,679	30,677			
	職員数	常勤職員数	8 人	3.23	2.00	2.00	3.00	3.12		3.00	
		再任用職員数	9 人	0.00	1.00	1.00	0.00	0.00		0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00		1.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	27,875	17,620	17,620	26,430	27,291		26,241	
		再任用職員分	12 千円	0	4,050	4,050	0	0		0	
		非常勤職員分	13 千円	0	2,830	2,830	2,830	2,935		2,935	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	122,814	123,675	112,741	116,257	115,418	118,110			
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15 円	3,389	3,255	3,179	3,059	3,441	3,108			
	財源	受益者負担分	16 千円	1,167	7,439	6,715	11,813	14,848		12,457	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0		0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0		0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,167	7,439	6,715	11,813	14,848	12,457			
差引：一般財源(14-20)		21 千円	121,647	116,236	106,026	104,444	100,570	105,653			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	1.0	6.0	6.0	10.2	12.9	10.5				

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	534
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		学校開放指導員謝礼の支出	39	校	22,769
		学校開放に伴う光熱水費	63	校	23,724
		プール開放運営委託	7	校	12,739
		学校施設維持管理費			17,534
		その他（通信運搬費・医薬品の購入ほか）			8,426
(2) 事業実績	平成27年1月から登録団体（少年団体を除く）の使用料を有料化しましたが、有料化前と比較し利用回数等が大きく変動することはありませんでした。また、有料化についての区民理解が浸透し使用券による使用料の納入方法についても滞りなく行われています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	学校開放が現在とほぼ同様の仕組みとなったのは、昭和61年度です。当時と比し「遊びと憩いの場」開放については利用者が半減する一方、団体開放については、登録団体数としては1.4倍、利用人員数は2.4倍に増えています。学校支援本部の活動や中学校の部活動が活発になり、また土曜授業の開始など学校使用の増加により、登録団体が利用できる時間は減少しています。なお、平成27年1月から登録団体（少年団体を除く）の使用料を有料化しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	学校開放事業に活用できる時間の減少に伴い、校庭を利用する登録団体からは利用時間の確保の要望があります。特に、校舎改築等に伴い長期間施設が利用出来ない場合、利用回数の減や代替施設の使い勝手等の見地から納得いただけないケースが多くなっています。さらに有料化に伴い、施設の設備や消耗品等の充実を求める意見があります。近隣住民からは、利用者の声・打球音や、学校付近での喫煙など利用者のマナーに関する苦情や意見が寄せられています。			
	今後の予測	生涯を通じたスポーツ・文化活動への要求はさらに大きくなっていくと思われる一方、校舎改築や学童クラブの学校内での実施、放課後等居場所づくり事業の実施などにより、学校施設を地域の中で活用していくことが多くなり、従来の学校開放事業としての学校施設の利用との間で調整が求められることが予測されます。			
評価と課題	学校開放事業に利用できる時間が少なくなり、活動回数や利用者数は減少していますが、学校施設の利用意向は総じて高いことから、できる限り開放できる施設・時間帯を確保していきます。なお、高円寺中学校においては、28年度から新しい小中一貫教育校の建設工事が始まり、登録団体の利用が制限されることが予想されます。杉並第四・杉並第八小学校の活用や他の地域の施設利用も併せ、登録団体の活動をできるだけ確保していく工夫をしていきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	縮小		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	学校施設は地域の拠点施設として多方面での活用が望まれていくことから、それぞれの学校施設の利用状況については常に把握し、校長・副校長或いは利用者団体協議会（全中学校と杉一小・杉十小に設置された利用調整機関）とも情報共有しながら連携を深め、効果的・効率的な学校施設の地域開放を実施していきます。				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00521)

事務事業名称		文化財調査・保護				款	07	項	05	目	01	事業	005	整理番号	535		
現担当課名		生涯学習推進課				係名		文化財係		連絡先電話番号		1666		昨年度整理番号	545		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		昭和57年度														
	平成27年度担当課名		生涯学習推進課								事業評価区分		一般				
	対象		区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等及び区民一般				根拠法令等		(1)		文化財保護法						
									(2)		杉並区文化財保護条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		区内の文化財を保護する。 文化財所有者及び区民が文化財を理解し、これを保存・活用できる。				活動指標		指標名(1)		埋蔵文化財調査・立合等の延べ日数						
						指標説明				杉並区文化財指定登録総件数							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		文化財調査を進め、必要と認められたものを登録文化財とし、重要なものを指定文化財として保存、刊行物や案内標示板等を媒体として、情報を提供、区内団体などと協働し、文化財の公開や文化財保護思想の普及を図る。 埋蔵文化財の適切な保護・保存を図り、活用に資する発掘調査を実施する。 国の史跡指定を受けた荻外荘の歴史的価値等を区民等に周知し、荻外荘紹介冊子を作成する。近衛文麿関係資料等の定期的な調査を実施する。				成果指標		指標名(1)		埋蔵文化財本調査延べ日数							
						指標説明				杉並区文化財保護奨励金の交付件数							
						指標名(2)											
						指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)	1	日	263	180	179	200	209	200	104.5							
	活動指標(2)	2	件	143	145	143	145	145	147	100.0							
	成果指標(1)	3	日	21	80	84	40	28	40	70.0							
	成果指標(2)	4	件	116	116	116	116	116	118	100.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	12,517	24,022	19,345	16,902	14,789	14,431	平成27年度 予算執行率(%)	87.5						
	(内)投資的経費等	6	千円	0	100	79	100	0	100	特記事項							
	(内)委託費	7	千円	6,455	14,660	11,396	5,977	4,862	4,880	文化財指定登録候補 調査委託費及び埋蔵文 化財発掘調査費等に、 実績による残が生じま した。							
	職員数	常勤職員数	8	人	4.37	3.00	3.08	3.00	3.11	3.00	平成26年度は、大宮 八幡宮旧本殿や荻外荘 などの建物の調査を実 施しましたが、平成27 年度は、建物に関する 調査を実施していない ことなどにより、事業 費減になりました。						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		非常勤職員数	10	人	3.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	37,713	26,430	27,135	26,430	27,203	26,241							
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0							
		非常勤職員分	13	千円	8,340	14,150	14,150	14,150	14,675	14,675							
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	58,570	64,602	60,630	57,482	56,667	55,347								
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	222,700	358,344	338,274	286,910	271,134	276,235								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	2,198	3,000	2,451	2,000	2,000	1,620							
		都からの補助金等	18	千円	1,099	1,500	1,225	1,000	1,000	810							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	3,297	4,500	3,676	3,000	3,000	2,430								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	55,273	60,102	56,954	54,482	53,667	52,917								
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	535
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		指定登録候補等調査委託	3	件	678
		指定登録文化財保護奨励	116	件	1,805
		埋蔵文化財調査委託	9	件	4,082
		文化財案内標示板等作成・修理	7	基	946
		その他（文化財保護審議会の運営、刊行物発行ほか）			7,278
(2) 事業実績	<p>平成27年6月、「荻外荘基礎調査報告書」を作成し、文化庁に意見具申し、平成28年3月、国史跡に指定されました。賞書を締結している陽明文庫との共同調査を年間5回実施し、近衛文麿や家族等の写真・掛け軸・日用品など多数確認しました。文化財保護ボランティアの取材・編集協力により「荻窪文化財めぐりマップ」を発行しました。文化財シリーズ45「杉並の講一旧上井草村地域」を発刊し、区文化財として考古資料と書跡の2点指定し、民間信仰石造物を1点登録しました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>文化財シリーズの発行や文化財案内標示板等の設置に加え、毎年「杉並区史跡散歩地図」を発行しています。高齢化社会の進展により、文化財散歩等を趣味にする区民が増加しています。また近年、国内での世界遺産登録などにより、文化財に対する興味・関心は高まっており、文化財部門に対する要望も多様化しています。平成24年に購入した荻外荘が、日本政治史上重要な場所として平成28年3月国の史跡に指定されました。荻外荘の国史跡指定も契機となり、自主的に事業を企画・運営する能力が育ちつつある文化財ボランティアについては、展示解説等、活動範囲の幅が広がっています。</p>				
事業環境の変化 （事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、この事業への期待も高まっています。「杉並区史跡散歩地図」は好評で、区が、杉並区地図の頒布を止めたこともあり、毎日のように頒布を求める区民が来庁します。区民の要望が多様化・複雑化する一方、これらの人々が特定の年齢層に固定化している状況であるため、他の年齢層の意見や要望の掘り起こしが必要であると考えます。区内の文化財について、所有者の高齢化等で維持管理が難しくなっている箇所が生じており、区からの支援が求められています。係の専門職員が全員非常勤職員であるため、文化財保護審議会委員等から常勤職員配置の要望が寄せられています。</p>				
今後の予測	<p>埋蔵文化財の整理・保存が重要な案件です。区立施設再編整備計画に基づき、永福体育館収蔵庫に代わる埋蔵文化財の保管場所の確保が今年度中の重要課題となっていますが、区民共有の財産としての出土物の活用を図っていくことも必要です。荻外荘の国史跡指定として、保存・活用・復原整備計画が進められます。この計画推進のため、荻外荘や近衛文麿関係資料の調査を定期的に行い、文化財として指定登録の手続きを進め、広く区民等に周知できるよう取り組んでいきます。</p>				
評価と課題	<p>文化財保護法により、文化財を適切に保存するために、埋蔵文化財の保管場所の確保が継続的に課題となっています。また、指定登録文化財の案件について、新たな調査や聞き取りなどにより、区内に眠っている文化財の掘り起こしが必要です。国の史跡に指定された荻外荘を今後、活用・保存・整備していくために、まちづくり担当部門と連携し、復原に向けた取組を積極的に行っていきます。文化財保護ボランティアの自立に向けては、運営が軌道に乗るよう引き続き支援を行います。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>文化財保護法・杉並区文化財保護条例及び関連分野の法規範との整合性を図りつつ、区民の求める文化財行政を効率的に進めていく必要があります。指定文化財の案件について、区内に眠っている文化財の掘り起こしを進めていきます。荻外荘の保存活用・整備について、まちづくり担当部門と連携を強化し、文化財部門として、文化庁への働きかけや区民への効果的な周知等の役割を果たしていきます。文化財保護ボランティアについては、継続的に活動を進めていけるよう、研修会の実施や活動機会の提供を行います。埋蔵文化財出土品や各資料の保管場所については、早急に解決すべき問題です。一方、廃棄についても上級庁での取扱いの検討を促すため、毎年、行政要望を継続して提出しています。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00523)

事務事業名称		社会参加支援			款	07	項	05	目	01	事業	007	整理番号	537
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	547
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和44年度												
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課												
	対象	義務教育終了後の知的障害者 区内在住、在勤、在学の外国人 こころの問題等をかかえた青年			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条						
						(2)		杉並区済美日曜教室実施要綱、にほんご教室分担金支給要綱、すぎなみしゃべり場実施要綱						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	障害を持った方や日本語の習得が必要な外国人等が、自立して社会参加できるようにする。			活動指標	指標名(1)		済美日曜教室延参加者数						
					指標説明		しゃべり場延参加者数							
					指標名(2)		しゃべり場延参加者数							
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	済美日曜教室 教養講座や近郊へ出かける社会見学等の体験学習を実施 にほんご教室 レベル別に5クラス設定し、区内団体との共催で 、年3期実施 青年期の社会適応力の向上 「すぎなみしゃべり場」(フリースペース)の開催			成果指標	指標名(1)		済美日曜教室参加率							
					指標説明		済美日曜教室延参加者数÷済美日曜教室延登録者数							
					指標名(2)		しゃべり場1回あたりの参加者数							
					指標説明		しゃべり場延参加者数÷実施回数							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1 人	852	900	859	900	950	900	105.6					
	活動指標(2)	2 人	348	300	296	300	260	1,800	86.7					
	成果指標(1)	3 %	63.8	70	57.3	70	79.0	70	112.9					
	成果指標(2)	4 人	7	10	6	7	6	30	85.7					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	6,993	8,759	7,874	7,680	6,385	6,572	平成27年度 予算執行率(%)	83.1				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	1,521	2,267	2,046	1,578	1,436	525	参加者数やボランティア数が減ったことによる使用料や謝礼等、事業数値の減による残					
	職員数	常勤職員数	8 人	1.76	1.60	1.80	1.60	1.70	1.30	平成27年度でしゃべり場事業終了のため、				
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	平成28年度計画では、				
		非常勤職員数	10 人	1.10	1.10	1.10	1.00	1.20	1.20	活動指標(2)を「にほんご教室延参加者数」				
	人件費	常勤職員分	11 千円	15,189	14,096	15,858	14,096	14,870	11,371	成果指標(2)を「にほんご教室1回あたりの出席者数」に変更。				
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	3,058	3,113	3,113	2,830	3,522	3,522					
	総事業費	14 千円	25,240	25,968	26,845	24,606	24,777	21,465						
	単位当たりコスト	15 円	29,624	28,853	31,251	27,340	26,081	23,850						
	財源	受益者負担分	16 千円	354	361	403	477	276	285					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	354	361	403	477	276	285						
差引：一般財源		21 千円	24,886	25,607	26,442	24,129	24,501	21,180						
受益者負担比率	22 %	1.4	1.4	1.5	1.9	1.1	1.3							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	537
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		済美日曜教室(教養講座12回、体験学習4回)の開催	16	回	4,678
		にほんご教室の開催	63	回	482
		青年期の社会適応力の向上(しゃべり場運営)	45	回	1,225
		その他()			
(2) 事業実績	<p>済美日曜教室の登録者数は97名でした。事業運営のボランティア数は平均23名でした。また、運動会に代わり、日頃の部活動の成果を発表する「済美文化の日」を開始しました。</p> <p>にほんご教室は、1年間で102名の外国人が参加しました。</p> <p>青年期の社会適応力向上では、参加者発案で「すぎなみフェスタ」に出店し、子ども向けワークショップを行いました。また、個別面談を実施し、就労支援センターなど、より適切な支援につなげました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>済美日曜教室は青年学級振興法のもと、済美青年学級として昭和44年に開始しました。平成12年、根拠法令廃止により、名称を変更して知的障害者の学習・余暇事業として継続しています。年々障害の程度が重い方や重複障害の方が増加しています。</p> <p>にほんご教室は外国人が日本語を基礎から学ぶ学習の場として平成3年度に開始しました。国際化が進む中、日本語習得のための場は広がっています。</p> <p>青年期の社会適応力の向上は平成16年度に開始し、居場所事業を中心に、ひきこもりなど若者の社会参加を支援してきました。近年、生活困窮者自立支援法や発達障害者支援法の制定等により、ひきこもり等に係る支援が図られています。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>済美日曜教室の参加者の多くは休日も家族と過ごす割合が高く、日曜日に家族外の人と交流ができる事業は大きな期待が寄せられています。</p> <p>にほんご教室は「仕事帰りに参加できる」「子どもを預けて勉強できる」という参加者の声があります。</p> <p>青年期の社会適応力の向上では「仲間ができた」「社会参加のきっかけとなった」という声がある一方、就労等に関する悩みも寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>平成28年4月1日「障害者差別解消法」が施行されました。今後ますます障害者の社会参加に向けた学習活動は求められます。</p> <p>区内における外国人住民の人口は、平成25年度10,236人、平成26年度10,755人、平成27年度11,680人と増加しており、今後もこの傾向が続くと見込まれます。</p>			
評価と課題	<p>社会参加支援事業は、様々な課題を持つ方の学習活動を支援しており、多くの区民の参加がありました。対象者の特徴から、事業の実施には専門的知識やノウハウ、人手の確保が重要です。そのため、専門性のある団体や区民ボランティアとの協働を図り、事業内容の充実に努めました。</p> <p>安全面に留意しながら事業を充実させていくためには、今後も担い手となる団体・区民等のスキルアップや関係部署等との連携を図っていくことが重要です。</p> <p>青年期の社会適応力の向上として実施していたすぎなみしゃべり場は、関係部署との連携によりステップアップにつながる将来像を示すことで役割を終えたものとし、平成27年度をもって終了しました。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
今後の進め方	<p>済美日曜教室は、参加者の安全を確保しながら、地域参加や学習が深まるように、運営や内容について工夫を図っていきます。運営においてはボランティアの拡充や研修、運営者間の情報共有に取り組むとともに、内容においては地域団体や区内大学等との連携を進めていきます。</p> <p>にほんご教室は、団体との協働により、区内外国人に必要な学習機会を提供していきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00524)

事務事業名称		社会教育センター運営			款	07	項	05	目	01	事業	008	整理番号	538		
現担当課名		生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	548			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成元年度														
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課										事業評価区分	一般			
	対象	一般区民、自主活動団体、企業			根拠法令等	(1)		杉並区立社会教育センター条例								
						(2)										
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	社会教育の実践の場である社会教育センター施設として、広く区民等の利用拡大に努める。区民や団体が、身近な地域で、生涯を通じて社会とのつながりを持ち続け、自発的な学習活動の実践につながるように、その活動を支援する。			活動指標	指標名(1)		施設利用回数								
					指標説明		社会教育に関する会議の人数									
					指標名(2)											
					指標説明											
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	施設の予約について、インターネット、窓口に設置されているタッチパネル式パソコン、携帯電話のインターネットによる方法で受け付ける。社会教育に関心のある区民の参画を得て事業を推進する方策について、協議・実践・調査・研究等を行う。地域における区民の自発的な各種学習活動を支援する。			成果指標	指標名(1)		稼働率									
					指標説明		施設利用回数÷施設利用可能回数									
					指標名(2)		定例会議における社会教育に関する会議への出席率									
					指標説明		出席者の延べ人数÷(社会教育に関する会議の人数×会議開催数)									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回	5,378	8,664	4,951	10,914	5,323	9,951	48.8						
	活動指標(2)	2	人	10	8	8	8	8	8	100.0						
	成果指標(1)	3	%	62	100	57	100	49	100	49.0						
	成果指標(2)	4	%	77	80	63	80	100	80	125.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,301	6,636	5,812	7,860	6,468	7,820	平成27年度予算執行率(%)	82.3					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	552	648	604	594	534	643	備品購入費で生じた落札差金が大きく、一般需用費の支出が少なかったため、執行率は90%を下回った。						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.42	2.20	2.22	1.50	1.80	1.50						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.80	0.80	0.80	0.50	0.30	0.40						
	人件費	常勤職員分	11	千円	20,885	19,382	19,558	13,215	15,745	13,121						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	2,224	2,264	2,264	1,415	881	1,174						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	29,410	28,282	27,634	22,490	23,094	22,115							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,469	3,264	5,581	2,061	4,339	2,222							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	29,410	28,282	27,634	22,490	23,094	22,115							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号 538			
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		社会教育センター運営経費(需用費、役務費等)			
		備品購入			1,490
		社会教育に関する会議運営事務費			29
		その他()			
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	平成27年度は、次世代型科学教育の推進をテーマに、初となるサイエンスフェスタの開催に向けて、関係部署や科学教育に関わる区内NPOからの情報収集などを通して、科学や理科教育に関わる団体、企業、都立・私立高等学校とのネットワークを構築することができました。			
		<p>施設利用状況 平成元年度3,663回 平成10年度5,887回 平成20年度5,269回 平成元年度～ 社会教育センター審議会 平成14年度～ 社会教育事業推進委員会(愛称:車座委員会) 平成27年度～ 社会教育事業推進組織</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	広く多様な区民が地域づくりに参加・参画することで、地域の活性化と課題解決が図られるよう、社会教育事業の充実に向けた仕組みづくりが期待されています。 教育事務の点検・評価において学識経験者からは、学習を通じて区民が多様な学びの「場」や「機会」の担い手となっていくことや、関連施設・機関・団体等との連携・協力体制の構築に取り組んでいることが評価されています。			
	今後の予測	本格的な少子高齢社会を迎え、誰もがが安心して暮らすことができる地域社会を形成していくとともに、ライフステージに即した学びあいや学び直しができる生涯学習社会への要望が高まると予測されます。			
評価と課題		社会教育事業推進組織では、次世代型科学教育の推進を図るため、科学に関係のある団体、企業、学校を訪問したり、ヒアリングや意見交換を行うことで、サイエンスフェスタ実行委員会の立ち上げにつなげることができました。当面は科学教育をテーマとし、子育てや文化など他分野で活動する団体にも呼びかけることで、科学教育の推進に社会教育の多様な切り口を取り入れ、様々な協働を図ることが重要です。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
今後の進め方		身近な地域で、区民一人ひとりがそれぞれの役割を見出し、地域や社会の課題や問題の解決にあたるのが重要です。そのためには、地域の実情を踏まえながら、より広く区民の参画を促す工夫が必要です。NPOやボランティア等地域で活躍する個人や団体とのネットワークを活かし、幅広い議論と実践を通して、社会教育に携わる組織・団体を支援し、区全体の社会教育事業の推進を図っていきます。			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00525)

事務事業名称		社会教育団体協働事業			款	07	項	05	目	01	事業	009	整理番号	539	
現担当課名		生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	549		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和26年度													
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	区内在住・在勤・在学者 各種社会教育団体			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条							
						(2)		大学公開講座実施要綱、杉並区文化団体連合会補助金交付要綱等							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民や関係団体と事業を共催することにより、区民の生涯学習や文化・芸術活動の参加の機会を提供するとともに、関係団体の活動を活性化する。			活動指標	指標名(1)		講座回数(大学公開講座、ユネスコ活動)							
					指標名(2)										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区文化団体連合会と共催で総合文化祭を実施する。 区内6大学と共催し公開講座を実施する。 杉並ユネスコ協会と共催等により、国際理解を深め平和の推進を図る事業を実施する。 社会教育活動団体と共催で事業を実施する。 社会教育活性化支援プログラムを実施する。			指標説明	成果指標		指標名(1)		総合文化祭の延べ来場者数						
					指標名(2)		指標説明		受講者数						
					指標説明		大学公開講座、ユネスコ活動								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 回	71	70	67	70	60	65	85.7						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3 人	15,639	17,000	14,354	16,000	14,128	16,000	88.3						
	成果指標(2)	4 人	2,769	2,800	2,290	2,500	2,186	2,250	87.4						
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	8,872	8,153	7,001	7,170	6,583	7,763	平成27年度予算執行率(%)	91.8					
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	558	430	389	10	10	139	28年度計画の活動指標である講座回数は、27年度まで実施していたユネスコの文化講座を実施しないため、回数、受講者とも減としている。						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.65	1.50	1.76	1.50	1.60	1.50						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	1.50	0.50	0.50	0.50	0.60	0.60						
	人件費	常勤職員分	11 千円	14,240	13,215	15,506	13,215	13,995	13,121						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	4,170	1,415	1,415	1,415	1,761	1,761						
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	27,282	22,783	23,922	21,800	22,339	22,645							
	単位当たりコスト((14-20)÷1)	15 円	384,254	325,471	357,045	311,429	372,317	348,385							
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17 千円	1,528	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	1,528	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21 千円	25,754	22,783	23,922	21,800	22,339	22,645							
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 539

平成27年度の事業実施状況	内 容		規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	大学公開講座共催分担金の支出		6	団体
杉並区総合文化祭分担金の支出				4,000	
文化団体連合会補助金の支出		1	団体	350	
ユネスコ活動分担金の支出		1	団体	778	
その他（社会教育活性化支援プログラムの実施）				358	
(2) 事業実績	<p>関係団体の自主性を尊重しながら、活動を活性化させるとともに、区民の生涯学習や文化・芸術活動事業の参加。また、平和・国際理解推進活動など、年度を通して各団体と区民が参加できる共催事業を実施しました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムでは、親子対象の「減災」プログラムを開催し、15家族40人の参加のほか、区民による調査研究事業「すぎなみライフスタイル研究会」を定例会として計10回実施しました。</p>				

事業開始当初から現在までの変化	<p>杉並区総合文化祭は、昭和26当初4団体で第1回目として開催しましたが、その後、参加団体が増え、平成27年は29団体で実施しました。</p> <p>区内大学公開講座実施対象校数：昭和60年 4大学 平成5年度 5大学 平成13年度から区内の全大学（6大学）で実施しています。</p> <p>杉並ユネスコ協会は、1951年9月に設立し、2016年9月で65周年を迎えます。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムは、平成25～26年度、文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」の採択をきっかけに平成27年度から開始しました。</p>				
事業環境の変化 （事業に対する意見・要望・苦情など）	<p>総合文化祭では、区民の発表の場として「区民文化の日」を設け、多くの参加がありました。</p> <p>大学公開講座は、各大学とも特色ある講座を実施し、好評で安定した受講者がいます。</p> <p>ユネスコ事業では、「ユネスコ運動の日」のチャリティー映画会の参加者が270名にのぼり、第2回目の「親子科学教室は「第1回すぎなみサイエンスフェスタ」に出展したことで88名の参加があり、それぞれ好評を博し、集客を伸ばすことができました。その他、ユネスコならではの「平和」に関する企画で、参加者からの満足度の高い事業との声が多く寄せられました。</p> <p>社会教育活性化支援プログラムの減災プログラムは、子どもや保護者から気付きや分かりやすさの点で大変好評でした。</p>				
今後の予測	<p>趣味や娯楽、スポーツ、教養・学習など多種多様な社会教育活動を担う団体への期待は大きく、参加している子どもから若年層、お年寄りまで幅広く、全ての世代で今後も高まっていくものと予想されます。</p>				
評価と課題	<p>各団体の特色を活かした事業の実施は、参加者から好評を得ています。しかしながら、活動経験の長い団体の運営は安定感がありますが、一方で新鮮味に乏しい面があることは、否めない状況になっています。</p> <p>また、文化団体連合会への補助金については、今後も前年度の収支決算及び事業実施状況を総合的に考慮の上、翌年度の予算編成の中で適正性を確保していきます。</p>				

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>既存の各団体に区民の要望やニーズに答えられるように、地域で活動する他の団体、活動場所など様々な情報を提供しながら、新たな事業の実施を促し、団体の活動を活発にしていきます。</p>	

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00526)

事務事業名称		成人学習支援			款	07	項	05	目	01	事業	010	整理番号	540	
現担当課名		生涯学習推進課			係名	社会教育センター			連絡先電話番号	4712		昨年度整理番号	550		
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課											事業評価区分	一般	
	対象	一般区民			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条							
						(2)		杉並区立社会教育センター条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	多世代の地域参加を促進するとともに、自らの学びの成果を発信し、次代に伝えていく力を育む。			活動指標	指標名(1)		すぎなみ大人塾(2コース等)延べ参加者数							
					指標名(2)		区民企画講座コース数								
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	地域とのかかわりが薄い若者や、地域住民等を対象に地域の課題を自ら考える機会となる講座運営を行う。 地域社会の担い手を育む学習の場として、現代的課題の解決や、コーディネート力を培う高度な講座を開催する。			成果指標	指標名(1)		大人塾の年間講座出席率								
					指標名(2)		大人塾年間出席者実数÷年間大人塾参加者延べ数								
					指標説明		地域との協働による区民企画講座の実施率								
					指標説明		地域との協働による講座実施数÷実施講座全数								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	883	1,200	1,221	1,200	1,621	1,200	135.1					
	活動指標(2)	2	コース	1	1	1	1	1	3	100.0					
	成果指標(1)	3	%	70	60	64	65	63	65	96.9					
	成果指標(2)	4	%	100	60	100	60	100	60	166.7					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	3,485	3,837	3,139	3,652	2,999	4,044	平成27年度予算執行率(%)	82.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 各種講座講師および託児等の実績による謝礼金の残 活動指標(2)は、講座内容の変更に伴い、平成27年度から、団体数をコース数に変更謝礼単価や講師人数の減により、執行率が90%を下回った。					
	(内)委託費	7	千円	295	395	395	295	294	580						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.31	2.10	2.22	2.10	2.00						2.00
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						0.00
		非常勤職員数	10	人	1.60	1.60	1.60	1.40	1.50						1.70
	人件費	常勤職員分	11	千円	19,935	18,501	19,558	18,501	17,494						17,494
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						0
		非常勤職員分	13	千円	4,448	4,528	4,528	3,962	4,403						4,990
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	27,868	26,866	27,225	26,115	24,896	26,528						
	単位当たりコスト(14-6)÷1)	15	円	31,561	22,388	22,297	21,763	15,358	22,107						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0						0
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	27,868	26,866	27,225	26,115	24,896	26,528						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	540
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		すぎなみ大人塾の開催	2	講座	2,800
		区民企画講座の開催	1	講座	167
		社会教育セミナーの開催	1	講座	32
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>すぎなみ大人塾：本講座延べ参加者数（868名）、はじめの一步まつり来場者数（1,100名、プレミアム講座（8コース・11回）の参加者数（241名）、協働推進課との共同事業（3回）参加者数（512名）、活動記録集の発行（300部）</p> <p>区民企画講座：企画委員数（5名）、講座参加者数（30名）</p> <p>社会教育セミナー受講者数：24名</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区民意向調査における調査結果 「ボランティア活動経験」がある 平成18年度22.0% 平成22年度22.6% 平成27年度24.7% 取り組んでいる社会活動参加状況のうち社会貢献・社会参加活動の割合 平成18年度4.3% 平成22年度5.2% 平成27年度4.8%</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>参加者からは「地域に一步踏み出すきっかけとなった」、「自分たちで考え行動していくことを学んだ」、「地域に貢献する活動をしたくなった」という感想が寄せられ、地域づくりの担い手となる層の発掘・育成につながっています。</p>			
	今後の予測	<p>平成27年12月、学校と地域が一体となって地方創生に取り組めるよう中教審から答申が出されたことにより、地域における人づくりがさらに求められます。また、文部科学省「教育・生涯学習に関する世論調査（平成28年2月）」では、「生涯学習を通じて身につけた知識等により人生が豊かになっている」と回答した人が、平成20年の43.8%から52.1%に増加しており、地域で行われる様々な事業への関心は今後も高まるものと考えられます。</p>			
評価と課題	<p>すぎなみ大人塾は、一年間を通じた学習です。修了生の社会教育委員の会議・地域区民センター協議会・学校運営協議会への委員就任などから問題意識の高まりが証明されています。一方、リピーターも多く、地域づくりの担い手のさらなる育成のために、新たな受講生の獲得について検討する必要があります。はじめの一步まつりは、つながりと活動の発表の場として、大人塾修了生やそのネットワークによって開催しています。また、他自治体住民との交流も促進するなど地方創生にも取り組んでいます。</p> <p>区民企画講座では、18歳以上に選挙権が付与されるのを前に、若者の主権者意識の醸成に向け、区内大学および高校と協働し、学校と地域の連携について意見交換の場を設けることができました。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
今後の進め方	<p>大人塾では、地域づくりの担い手として、区民自身が多様な学びの場や機会を創り出すことができるよう、引き続き、区民主体の地域活動につながる学びを提供していきます。また、約650名の修了生を、自治会や地域区民センター協議会、商店街、学校などでコーディネーター役として活かしていきます。</p> <p>新たな受講生の獲得につながる多様なコース設定を検討していきます。</p> <p>区民企画講座は、若者に向けた社会教育事業として引き続き地域との協働で実施していきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00527)

事務事業名称 郷土博物館の運営管理			款 07	項 05	目 01	事業 011	整理番号 541			
現担当課名 生涯学習推進課		係名 郷土博物館		連絡先電話番号 3317-0841		昨年度整理番号 551				
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり						予算事業区分 既定事業				
事業開始 平成元年度										
平成27年度担当課名 生涯学習推進課		事業評価区分 一般								
対象 一般区民、自主活動団体等		根拠法令等 (1) 博物館法 (2) 杉並区立郷土博物館条例								
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 歴史的・文化的資料の収集保存・調査研究活動等を行い、展示等各種事業を通じて、利用者に杉並の歴史文化を知ってもらうとともに、区民の杉並への理解と関心を深め愛着心を高める。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		企画展・講座・教室等事業実施回数 収蔵資料総数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 資料の収集・保管・調査・研究・寄贈・寄託展示、子ども博物館教室、講演会等各種行事の実施 学校教育等への支援・連携 研究紀要等の発行		成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		事業参加者数 アンケート結果 満足を3、普通を2、不満を1とした平均点					
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画(目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 回	69	50	57	50	66	50	132.0	
	活動指標(2)	2 点	139,814	140,814	140,751	141,751	140,979	141,979	99.5	
	成果指標(1)	3 人	55,082	56,000	58,599	59,000	63,031	64,000	106.8	
	成果指標(2)	4 点	2.7	3.0	2.7	3.0	2.7	3.0	90.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	11,637	15,282	12,436	20,349	18,379	14,682	平成27年度 予算執行率(%) 90.3	
	(内)投資的経費等	6 千円	74	200	0	0	0	0	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	3,185	4,058	3,641	7,369	7,004	4,426		
	職員数	常勤職員数	8 人	3.31	4.00	4.46	3.00	3.15	3.00	
		再任用職員数	9 人	2.03	2.00	2.03	2.00	1.76	2.00	
		非常勤職員数	10 人	12.00	12.00	12.00	11.83	11.33	10.83	
	人件費	常勤職員分	11 千円	28,565	35,240	39,293	26,430	27,553	26,241	
		再任用職員分	12 千円	7,836	8,100	8,222	8,100	7,285	8,278	
		非常勤職員分	13 千円	33,360	33,960	33,960	33,479	33,254	31,786	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	81,398	92,582	93,911	88,358	86,471	80,987		
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15 円	1,178,609	1,847,640	1,647,561	1,767,160	1,310,167	1,619,740		
	財源	受益者負担分	16 千円	1,471	1,472	1,391	1,467	1,613	1,508	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,471	1,472	1,391	1,467	1,613	1,508		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	79,927	91,110	92,520	86,891	84,858	79,479		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	1.8	1.6	1.5	1.7	1.9	1.9			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	541	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		特別展・企画展・講座・教室等の開催		66	回	15,965
郷土博物館運営協議会の開催		3	回	269		
博物館事業の運営管理経費				2,145		
その他（ ）						
(2) 事業実績	平成26年度3月に常設展示を更新した記念行事を4月に開催しました。また、特別展をはじめとした、企画展、収蔵資料展等を20回開催しました。そのうち3回は、区民等が中心となって企画した区民参加型の展示です。 そのほか、講座・教室・講演会を開催して、年中行事・伝統芸能を紹介しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>入館者数</p> <p>平成元年度 17,326人</p> <p>平成19年度 分館開館</p> <p>平成20年度 13,324人（本館）・12,740人（分館）</p> <p>平成25年度 13,246人（本館）・12,011人（分館）</p> <p>平成26年度 13,210人（本館）・13,361人（分館）</p> <p>平成27年度 14,970人（本館）・14,577人（分館）</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	展示・講座等開催した各種事業は、来館者から概ね高い評価を受けています。子どもから大人までの参加や地元ならではの様々なテーマ設定が求められています。				
	今後の予測	区民のライフスタイルや価値観が多様化し、生涯を通して健康で生きがいのある生活や自己実現などを求める人々が増えています。多くの区民に日常的に利用される地域に根ざした博物館として、地域との協働により生涯学習を支援する活動に取り組んでいくことが求められます。				
評価と課題	杉並の歴史と文化を知り、郷土への愛着心を高めてもらうため、様々な博物館活動をしています。事業参加者数は平成25年度から3年連続して増加しており、来館者からは概ね満足といった評価を得ています。 区民が事業参加者としての立場だけでなく、事業に協働して取り組む事が出来るように、企画の段階から参画の機会を広げていくことが課題です。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充			
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）				
今後の進め方	区民とともに創る区民のための博物館を目指して、区民参画の充実の一環として、文化財ボランティア等との連携を深めて、展示解説のほか、あらゆる場面での区民参画の機会を上げていきます。また、体験型・参加型事業や学校対心事業の充実を図ります。更に、関連施設との連携を図っていきます。					

平成28年度杉並区事務事業評価表（１）

（ 00528 ）

事務事業名称		図書館運営			款	07	項	05	目	01	事業	012	整理番号	542	
現担当課名		中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	552			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和25年度	実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 03			主要事業（区政経営報告書掲載事業）									
	平成27年度担当課名	中央図書館			事業評価区分 一般										
	対象	図書館利用者及び団体（学校、保育園、ゆうゆう館など）			根拠法令等	(1)		図書館法							
						(2)		子どもの読書活動の推進に関する法律							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	誰もが学び続け、その成果を活かせる地域づくりを進めるため、本と親しめる環境を整備するとともに図書館利用の促進を図ることにより、区民の生涯にわたる学習と自立を支援していく。			活動指標	指標名（1）		蔵書数							
					指標名（2）		個人貸出冊数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	区民の課題解決や生涯学習を支援するため、レファレンスサービスの充実やデータベースの活用などを図る。 図書館システムの運用、インターネットパソコンによる情報発信及び情報提供を行う。 図書資料の選定、収集、保存及び廃棄を行う。 図書館資料の利用案内を行う。 乳幼児から高齢者まで幅広い世代への読書機会の提供と読書環境の充実を図る。			成果指標	指標名（1）		区民1人当たりの蔵書数								
					指標名（2）		蔵書数÷杉並区の人口								
					指標説明		区民1人当たりの年間貸出冊数								
					指標説明		個人貸出冊数÷杉並区の人口								
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標（1）	1冊	2,403,581	2,403,000	2,348,027	2,256,000	2,353,243	2,233,000	104.3						
	活動指標（2）	2冊	4,478,923	4,900,000	4,437,053	4,900,000	4,493,858	4,900,000	91.7						
	成果指標（1）	3冊	4.41	4.40	4.27	4.10	4.23	4.02	103.2						
	成果指標（2）	4冊	8.22	8.99	8.07	8.91	8.08	8.81	90.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5千円	913,467	949,484	931,800	961,768	949,334	958,017	平成27年度予算執行率(%)	98.7					
	（内）投資的経費等	6千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	（内）委託費	7千円	646,866	677,381	671,475	698,468	693,174	698,267	平成27年4月1日現在人口555,897人						
	職員数	常勤職員数	8人	63.48	58.00	61.23	59.00	63.54	59.00	指定管理6館 債務負担行為（総額）： 1,293,000千円 設定期間：平成25年度～平成27年度					
		再任用職員数	9人	17.00	19.00	19.00	18.00	18.00	15.00						
		非常勤職員数	10人	23.00	22.00	22.00	22.00	22.00	25.00						
	人件費	常勤職員分	11千円	547,832	510,980	539,436	519,790	555,784	516,073						
		再任用職員分	12千円	65,620	76,950	76,950	72,900	74,502	62,085						
		非常勤職員分	13千円	63,940	62,260	62,260	62,260	64,570	73,375						
	総事業費	14千円	1,590,859	1,599,674	1,610,446	1,616,718	1,644,190	1,609,550							
	単位当たりコスト	15円	662	666	686	717	699	721							
	財源	受益者負担分	16千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20千円	0	0	0	0	0	0							
差引：一般財源		21千円	1,590,859	1,599,674	1,610,446	1,616,718	1,644,190	1,609,550							
受益者負担比率	22%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	542
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		管理運営（指定管理者）	6	館	427,000
		図書館サービス業務委託	4	館	185,698
		図書館資料購入・装備	13	館	183,636
		図書館システム管理（図書サービスコーナー等含む）	17	施設	62,343
		その他（情報環境の提供、ブックスタート、子ども読書活動推進ほか）			90,657
(2) 事業実績	<p>アンネ・フランク関連図書棄損事件(平成26年2月)を踏まえたワークショップの開催や、すぎなみ子ども・子育てメッセへの出展等を通じて、読書啓発活動を実施しました。また、中・高校生を対象に演劇イベント等を行い、図書館の利用促進を図りました。音訳や読み聞かせ等の図書館ボランティアの継続的な養成や研修などを実施し、図書館、学校及び地域で読書活動に関わる人材を育成するとともに、区民等との連携・協働による多様なサービスの充実に努めました。さらに、桜上水北図書サービスコーナーを新設し、区民の利便性向上を図りました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和25年に区立図書館を設置、その後、14館構想（1地域2館構想）に基づく図書館整備を進め、平成19年には13館目を設置することにより、中央図書館を核とした13館で図書館運営を行っています。平成17年度から民間の創意工夫を活かした運営手法（業務委託・指定管理者制度）を段階的に採り入れ、現在は、13館中10館が民間事業者による運営（一部業務委託）となっています。また、昭和59年に図書館コンピュータシステムを導入、平成13年度には図書館ホームページを開設し、さらに平成24年度に図書館システムを更新するなど、区民が利用しやすい図書館資料の検索・予約・貸出の仕組みづくりを進めています。</p>				
事業環境の変化	<p>中央図書館を含む老朽化した図書館の改築・改修に関する要望や、高円寺地域の2館目の図書館を求める意見、電子情報サービスの充実に望む声など、区民等から図書館のハード、ソフト両面に関する多様な意見・要望などが寄せられています。</p>				
今後の予測	<p>地域の課題解決や区民の生涯学習の支援に資する図書館への期待が高まるとともに、情報化をめぐる大きな環境変化を背景に、図書館の電子情報サービスの拡充についての要望も多く寄せられるものと見込まれます。今後はさらに、様々な区民が気軽に集い交流するとともに、各々の知識や経験をもとに互いに連携・協力しあう、「楽しい交流空間」としての図書館の役割が求められます。</p>				
評価と課題	<p>施設・設備等の老朽化が進む図書館は、実行計画及び区立施設再編整備計画に基づき、改修、改築を進めていくこととしています。中央図書館の改修については、図書館協議会のほか、ワークショップや各種アンケート調査など多様な参加手法により幅広い区民等の意見を聴きながら、改修基本計画を策定します。</p> <p>一方、平成28年3月に電子情報サービスへの対応方針や蔵書規模の適正化に係る方針を策定しました。今後は、これらの方針に基づき、電子情報サービスを活用した更なる図書館サービスの向上と、適切な蔵書管理を通じた図書館資料全体の充実と体系的な資料保存にも努めていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し		
今後の進め方	<p>区立図書館では、時代のニーズを的確に反映し図書館サービスの向上を図るために、今後10年間の図書館の羅針盤として『杉並区立図書館サービス基本方針』を平成25年3月に策定しました。今後は、同基本方針が掲げる「10年後の図書館像」の実現を目指して、関連計画である「杉並区子ども読書活動推進計画」との連携のもと、図書館運営状況等に係る評価の仕組みを適切に運用しながら、よりよい図書館サービスの提供に努めていきます。</p> <p>さらに、老朽化した図書館の改修・改築の課題についても、サービス水準の向上と施設運営の効率化という視点からの運営形態の見直し・改善を図りつつ計画的に取り組み、誰もが利用しやすい図書館になるよう、施設・設備の充実に努めていきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00697）

事務事業名称 次世代型科学教育の推進				款 07	項 05	目 01	事業 014	整理番号 543	
現担当課名 生涯学習推進課		係名 社会教育センター		連絡先電話番号 4712		昨年度整理番号			
上位施策No・施策名 29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり							予算事業区分 新規事業		
事業開始 平成27年度		実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 05			主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
平成27年度担当課名 生涯学習推進課								事業評価区分 一般	
対象 区内在住・在学の児童・生徒、一般区民、区内団体		根拠法令等 (1) (2)	理科教育振興法第1条 教育基本法第12条						
事務事業の概要	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		活動指標	移動式プラネタリウムの開催日数					
	広く子どもから大人まで科学に親しみ、科学に関する多様な体験や触れ合う機会を地域に出向いて提供する。交流自治体や区民、NPO、民間事業者等との協働により、相互のつながりやかかわり合いを促進する。ICTやデジタル技術などを活用した次世代型の科学教育を推進する。		指標名(1)	移動式プラネタリウムの開催日数					
			指標説明	サイエンスフェスタの出席団体数					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		指標名(2)	サイエンスフェスタの出席団体数					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		指標説明							
新たな天文学習 移動式プラネタリウムの上映や、北海道名寄市（交流自治体）との協働による天文台車での観望会を実施		成果指標	移動式プラネタリウムの参加者数						
科学博覧会 最新の科学にふれる展示や、団体・企業・学校等の協働による「サイエンスフェスタ」を開催		指標名(1)	移動式プラネタリウムの参加者数						
サイエンスコミュニケーション 科学に関する講座や講演会のほか、子ども向け夏休み連続講座を実施		指標説明	サイエンスフェスタ参加者数						
指標		単位	平成25年度実績	平成26年度計画		平成27年度計画		平成28年度実績	平成27年度対計画比(%)
活動指標(1)		1 日				20	19	20	95.0
活動指標(2)		2 団体				20	24	27	120.0
成果指標(1)		3 人				2,800	2,781	2,800	99.3
成果指標(2)		4 人				2,000	2,018	2,000	100.9
事業費		5 千円				18,575	17,535	14,453	平成27年度予算執行率(%) 94.4
(内) 投資的経費等		6 千円				0	0	0	特記事項
(内) 委託費		7 千円				11,569	11,567	7,849	平成27年度、科学館より生涯学習部門に係る科学教育事業が移管された。
職員数		8 人				1.70	2.10	1.90	
再任用職員数		9 人				0.00	0.00	0.00	
非常勤職員数		10 人				1.60	1.70	2.10	
人件費		11 千円				14,977	18,369	16,619	
再任用職員分		12 千円				0	0	0	
非常勤職員分		13 千円				4,528	4,990	6,164	
総事業費		14 千円				38,080	40,894	37,236	
総事業費(5+11+12+13)		14 千円				38,080	40,894	37,236	
単位当たりコスト		15 円				1,904,000	2,152,316	1,861,800	
単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円				1,904,000	2,152,316	1,861,800	
受益者負担分		16 千円				0	0	0	
国からの補助金等		17 千円				0	0	0	
都からの補助金等		18 千円				0	0	0	
その他の補助金等		19 千円				0	0	0	
特定財源計		20 千円				0	0	0	
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円				0	0	0	
差引：一般財源		21 千円				38,080	40,894	37,236	
差引：一般財源(14-20)		21 千円				38,080	40,894	37,236	
受益者負担比率		22 %				0.0	0.0	0.0	
受益者負担比率(16÷14)		22 %				0.0	0.0	0.0	

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 543

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	次世代型科学教育の拠点づくりに関する調査研究			5,936
		新たな天文学習事業の実施	4,467	人	2,943
		科学博覧会の実施	3,905	人	5,151
		サイエンス・コミュニケーション事業の実施	341	人	3,505
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>科学教育関連企業・団体等と連携して最先端の科学を身近な地域施設等で提供する出前型・ネットワーク型の科学教育事業を展開しています。新たな天文学習事業では、移動式プラネタリウムでの投影映や、交流自治体の北海道名寄市と協働で移動式天文台車による観望会を開催しました。また、科学博覧会事業では、科学技術館の展示を区内で行う巡回展示や参加体験型科学の祭典「サイエンスフェスタ」を開催しました。さらにサイエンス・コミュニケーション事業では、中学生向けの連続講座「フューチャーサイエンスクラブ」をはじめ、様々なワークショップを実施しました。</p>				
事業開始当初から現在までの変化	<p>平成27年度末で杉並区立科学館が閉館しました。科学館が担ってきた科学教育事業のうち、生涯学習分野については社会教育センターに移管されました。移管に伴い、事業の実施にあたっては、地域施設に出向き、区民、NPO、民間事業者等との協働を重視することとしています。</p>				
事業環境の変化	<p>アンケートによると、子どもから大人まで各種事業の参加者からは、「楽しかった・面白かった」「また参加したい」といった感想が寄せられています。サイエンスフェスタの出展者からは、団体同士が知りあふ機会としても好意的に受け止められており、来年度の開催に向けた提案も出されています。また、「次世代型科学教育の拠点づくりに関する調査・研究業務報告書（平成27年10月）」の区民アンケート調査では、「参加したい科学イベントの種類」として「宇宙に関するイベント」「体験型イベント」「コンピューター・ICTを使った科学体験・学習」などが選ばれています。</p>				
今後の予測	<p>科学教育において、世代を超えて身近な場所で科学に親しみ生涯にわたって学び続けられるよう、科学教育関係団体等との連携を図り、常に最先端の科学や技術を取り入れていく仕組みが重要です。また、より多くの区民に科学の楽しさや魅力を発信できるよう、ICTや最新のデジタル技術を活用した情報の提供や交流・体験の場をつくることの必要性が高まるものと考えられます。</p>				
評価と課題	<p>「サイエンスフェスタ」開催にあたり、科学教育関連企業・団体等と協働で実施することで、2,000人以上の区民が参加しました。今後は、「サイエンスフェスタ」でつながった様々な団体等とのネットワークを生かし、身近な地域施設で科学教育事業に参加できる機会を充実させていきます。また、「サイエンスグランプリ」や「フューチャーサイエンスクラブ」にとどまらず、学校教育部門との連携・協働を拡げていきます。今後は、これらの事業の成果を、次世代型科学教育の新たな拠点づくりに活かしていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>科学教育における学びの循環を進めるため、「すぎなみサイエンスフェスタ」を中心に各種団体、企業、学校等とのネットワークを構築し、さらに連携・協働を広げることで、身近な地域施設で科学技術を楽しく学ぶことができる事業展開を図っていきます。また、学校教育部門との連携・協働による事業の充実を図っていきます。事業を通して得られた成果は、今後つくられる次世代型科学教育の拠点づくりにつなげていきます。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00529)

事務事業名称		社会教育センター維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	001	整理番号	544
現担当課名		生涯学習推進課			係名			社会教育センター			連絡先電話番号	4712	昨年度整理番号	553
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成元年度												
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課			事業評価区分			施設維持管理						
	対象	社会教育センター			根拠法令等	(1)		社会教育法第3、5条						
						(2)		杉並区立社会教育センター条例						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	区民の学習の場として、安全で快適に活動できる施設として良好な環境を維持し利用者に提供する。			活動指標	指標名(1)		施設利用回数						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	利用者に対し、社会教育の学習の場を提供すると同時に、一般区民の利用施設として快適で安全な環境を図るため、修繕を含めた施設の適正な維持及び管理を行う。			成果指標	指標名(1)									
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	5,378	8,664	4,951	10,914	5,324	9,951	48.8				
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3												
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	64,116	71,053	68,654	67,445	64,280	77,445	平成27年度 予算執行率(%)	95.3			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	45,291	51,824	50,532	47,243	46,942	51,218					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.88	0.80	0.86	0.80	0.90	0.80				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	7,594	7,048	7,577	7,048	7,872	6,998				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	71,710	78,101	76,231	74,493	72,152	84,443					
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	13,334	9,014	15,397	6,825	13,552	8,486					
	財源	受益者負担分	16	千円	24,553	28,301	22,780	24,092	23,166	26,921				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	24,553	28,301	22,780	24,092	23,166	26,921					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	47,157	49,800	53,451	50,401	48,986	57,522					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	34.2	36.2	29.9	32.3	32.1	31.9						

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	544	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託			
		光熱水費			14,349
		施設維持経費(修繕費、消耗品の購入、使用料)			2,989
		その他()			19
	(2) 事業実績	ホールの居住性・安全性向上のため、昨年に引き続きホール椅子の張替を計画的に行い、消防点検指摘事項への対応や、水道関連のメーターや弁の必要な交換などを実施しました。また、28年度開始の駐車場有料化に備えて、必要な電気設備や駐車場設備の改修を行いました。経年劣化が進む施設を快適に保てるよう積極的に小修繕を実施し、適切な維持管理に努めています。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
	評価と課題	数年来課題となっている舞台照明関係の危険箇所や、エレベーターの老朽化に対応ができていません。施設全体が老朽化しているため、消防点検の指摘事項などは、改修しても翌年には新たな指摘箇所が発生してしまうが続いています。特にホールの舞台関係は、音響設備を中心に閉館時に導入したシステムが残っており、故障が多いばかりでなく、デジタル化などの施設更新が遅れています。有料公演を行うプロ仕様の舞台としてはもちろん、一般の利用でも使い勝手の悪さが生じています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00530)

事務事業名称		郷土博物館の維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	002	整理番号	545	
現担当課名		生涯学習推進課			係名			郷土博物館			連絡先電話番号	3317-0841		昨年度整理番号	554
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成元年度													
	平成27年度担当課名	生涯学習推進課									事業評価区分	施設維持管理			
	対象	博物館利用者			根拠法令等	(1)		博物館法							
						(2)		杉並区立郷土博物館条例							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	歴史的・文化的資料を適切な状態で保存・展示し、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			活動指標	指標名(1)		開館日数							
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	本館、分館、西田小学校郷土資料展示室、松ノ木遺跡、館外収蔵庫4か所の維持管理			成果指標	指標名(1)										
					指標説明										
					指標名(2)										
					指標説明										
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1 日	293	294	273	296	296	294	100.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3													
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	41,032	49,347	48,632	35,964	34,728	45,540	平成27年度 予算執行率(%)	96.6					
	(内)投資的経費等	6 千円	9,005	16,300	15,966	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7 千円	24,788	33,259	33,042	23,098	22,633	30,717							
	職員数	常勤職員数	8 人	1.01	1.00	1.02	1.00	1.01	1.00						
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11 千円	8,716	8,810	8,986	8,810	8,834	8,747						
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費	14 千円	49,748	58,157	57,618	44,774	43,562	54,287							
	単位当たりコスト	15 円	139,055	142,371	152,571	151,264	147,169	184,650							
	財源	受益者負担分	16 千円	33	30	33	40	31	40						
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計		20 千円	33	30	33	40	31	40							
差引：一般財源		21 千円	49,715	58,127	57,585	44,734	43,531	54,247							
受益者負担比率	22 %	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	545
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託	2	館	22,221
		光熱水費	2	館	8,427
		施設維持管理	2	館	4,080
	その他()				
(2) 事業実績	<p>旧篠崎家主屋の照明や旧井口家長屋門の棟飾り等の修繕や資料の適切な保存のための調湿・カビ対応を行いました。また、節電・節水、クールビズなどにより、効率的な維持管理に努めました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	<p>本館及び分館等を適正に維持管理するため、職員による建物の保守管理及び不良個所の早期発見・早期対策に努めていますが、本館は開設以来四半世紀以上が経過してしているため、機械、設備、建物など、あらゆる面で老朽化が進んでいます。また、本館に収蔵しきれない収蔵資料については、現在4つの学校の余裕教室等を利用して収蔵していますが、学校施設の地域活用が拡充されることから、恒久的な収蔵スペースを確保するため、関係機関と協議していく必要があります。</p>				
中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00531）

事務事業名称		図書館施設維持管理			款	07	項	05	目	02	事業	003	整理番号	546	
現担当課名		中央図書館		係名	管理係			連絡先電話番号	4715		昨年度整理番号	555			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和27年度			主要事業（区政経営報告書掲載事業）										
	平成27年度担当課名	中央図書館			事業評価区分									施設維持管理	
	対象	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)			根拠法令等	(1)		図書館法							
						(2)		杉並区立図書館条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	図書館利用者等に、安全で快適な施設利用環境を提供する。			活動指標	指標名（1）		開館日数（全館累計）							
					指標説明										
				指標名（2）			利用者数（全館累計）								
				指標説明											
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者等の安全性及び利便性の向上を図る。			成果指標	指標名（1）										
					指標説明										
				指標名（2）											
				指標説明											
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度	対計画比(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標（1）	1	日	4,321	4,318	4,318	4,336	4,331	4,324	99.9					
	活動指標（2）	2	人	2,769,031	3,090,000	2,833,348	3,100,000	2,806,245	3,110,000	90.5					
	成果指標（1）	3													
	成果指標（2）	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	140,419	152,156	147,706	162,270	150,883	164,286	平成27年度 予算執行率(%)	93.0				
	（内）投資的経費等	6	千円	2,519	0	0	0	0	0	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	78,395	85,061	80,770	95,377	91,033	92,308						
	職員数	常勤職員数	8	人	4.23	4.00	4.21	4.00	4.49	5.00					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	36,505	35,240	37,090	35,240	39,274	43,735					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	176,924	187,396	184,796	197,510	190,157	208,021						
	単位当たりコスト	15	円	40,362	43,399	42,797	45,551	43,906	48,108						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源		21	千円	176,924	187,396	184,796	197,510	190,157	208,021						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	546
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		設備保守管理委託	7	館	88,316
		光熱水費	7	館	47,519
		施設修繕・消耗品等購入	7	館	10,241
	その他(賃借料ほか)			4,807	
(2) 事業実績	中央図書館及び地域図書館における光熱水費の支払い業務のほか、清掃業務委託や警備委託などの施設管理業務、事務機器等の賃借、施設の修繕などを実施しました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)				
	今後の予測				
評価と課題	老朽化した中央図書館及び地域図書館の実情に即して、関係各課と連絡・調整を行い適切な維持管理に努めています。 なお、老朽化施設の改築・改修については、今後も実行計画及び区立施設再編整備計画等に基づき、蔵書規模の適正化の取組や図書館の電子情報サービスの充実等に合わせ、計画的に対応していきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性			
	今後の進め方	II 事業の改善の方向性			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00532)

事務事業名称		生涯スポーツ振興事業			款	07	項	06	目	01	事業	001	整理番号	547
現担当課名		スポーツ振興課			係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	556	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和37年度												
	平成27年度担当課名	スポーツ振興課									事業評価区分	一般		
	対象	スポーツをする機会の少ない人及びスポーツ団体・競技者			根拠法令等	(1)	社会教育法第3、5条、スポーツ基本法第22条、32条			(2)	杉並区スポーツ推進委員に関する規則、杉並区スポーツ栄誉顕彰要綱			
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ振興事業を通して、スポーツ実施者の拡大を図ると共に、事業の運営等への参画・協働の仕組みを充実させ、様々な立場でスポーツに関わる人を増やすことで、人と人とのつながりを広げ、スポーツによる地域づくりを目指す。			活動指標	指標名(1)	各種生涯スポーツ事業回数			指標説明	共催件数			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	スポーツ推進委員：公募により委嘱したスポーツ推進委員が、地域拠点活動、綱引き大会、キンボールスポーツ交流大会などの事業を企画・実施する。 駅伝大会の開催 重度心身障害者スポーツ教室(わいわいスポーツ教室)：年6回開催する。 スポーツ栄誉章の授与 体育団体活動の奨励 交流自治体スポーツ交流			成果指標	指標名(1)	各種事業参加者数・スポーツ栄誉章被顕彰者数			指標説明	生涯スポーツ振興事業8事業の延べ参加者数			
					指標名(2)	各種事業ボランティア等人数			指標説明	生涯スポーツ振興事業7事業の実行委員・ボランティアの延べ人数				
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1	回	50	46	35	35	39	36	111.4				
	活動指標(2)	2	件	36	37	37	36	35	35	97.2				
	成果指標(1)	3	人	4,906	3,000	2,333	1,900	2,414	2,200	127.1				
	成果指標(2)	4	人	822	558	592	490	629	630	128.4				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	31,727	28,419	23,854	26,414	22,543	25,752	平成27年度予算執行率(%)	85.3			
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	7	千円	6,718	1,001	934	147	144	164	スポーツ祭東京2013事業が平成25年度で終了し、すぎなみ名物ファミリー駅伝・区民歩こう会は平成27年度から(公財)杉並区スポーツ振興財団に事業移管となった。				
	職員数	常勤職員数	8	人	4.97	4.65	4.86	4.65	4.80	4.85	このため、平成27年度の対象事業数は、成果指標(1)が8事業、成果指標(2)が7事業といずれも減少している。			
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.15	0.12	0.00	平成28年度の職員数に「オリンピック・パラリンピック教育事業推進担当」の常勤職員分0.2人を含んでいる。			
		非常勤職員数	10	人	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	42,891	40,967	42,817	40,967	41,986	42,423				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	608	497	0				
		非常勤職員分	13	千円	2,780	2,830	2,830	2,830	2,935	2,935				
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	77,398	72,216	69,501	70,819	67,961	71,110					
	単位当たりコスト(14÷1)	15	円	1,547,960	1,569,913	1,985,743	2,023,400	1,742,590	1,975,278					
	財源	受益者負担分	16	千円	900	500	515	0	0	0				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	3,895	31	72	0	769	971				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,795	531	587	0	769	971					
差引：一般財源(14-20)	21	千円	72,603	71,685	68,914	70,819	67,192	70,139						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	1.2	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0						

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	547
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		交流自治体とのスポーツ交流（中学生軟式野球、バレーボール）	415	人	8,293
		中学校対抗駅伝の開催	423	人	6,180
		体育団体活動の奨励	26	事業	3,975
		スポーツ推進委員	21	人	2,561
		その他（わいわいスポーツ教室、スポーツ栄誉章 ほか）			1,534
(2) 事業実績	<p>区民や団体、スポーツ推進委員等の参画により、スポーツ振興事業を実施しています。交流自治体中学生親善野球大会では、2名の女子選手を含む選手団が、軟式野球による交流に加え、台湾台北市の中学校を訪問するなど国際交流・異文化理解を深めました。体育団体等に対し、共催事業35件、後援事業119件の活動助成を行いました。体育大会等で優秀な成績を収めた44組304名に対し、スポーツ栄誉章を授与しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>【区民意向調査】 （5年前との比較） 健康状態について、「非常に健康である」「だいたい健康である」の割合 H22:85.3% H27:87.2% ボランティア活動について、「活動してみたいと思う」人の割合 H22:48.3% H27:23.1% 取り組んでいる社会参加活動について、「スポーツ活動」をあげた人の割合 H22:22.3% H27:24.3%</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>成果指標(1)事業参加者数・成果指標(2)ボランティア等人数がともに増加しています。特にわいわいスポーツ教室（重度心身障害者スポーツ教室）のボランティアは昨年度より70人増え、ボランティア活動にやりがいを感じる意見が多く寄せられています。また、わいわいスポーツ教室でのボランティア活動をきっかけとして、他の事業のボランティアに参加するなど「支えるスポーツ」の輪が広がりはじめています。</p>			
	今後の予測	<p>リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック大会や、東京マラソンなどの開催により、「するスポーツ」だけでなく、「観るスポーツ」「支えるスポーツ」にも関心が高まることが予想されます。健康スポーツライフ杉並プランが目指す、スポーツや運動に関わる多様な活動を通して、認め合い支えあう、豊かで活力に満ちた社会形成に向けた事業を展開する環境が整ってきています。</p>			
評価と課題	<p>（公財）杉並区スポーツ振興財団への事業移管により、事業数は減少しましたが、地域に密着したスポーツ活動の支援や、個別の事業において区民参画を促すための取組を、丁寧かつ着実に実施したことにより、事業参加者数は2,414人、ボランティア等人数は629人と、昨年比で増加しています。今後も、より多くの区民の自主的・継続的なスポーツ活動を推進するため、スポーツを支える活動の充実を図るとともに、減少・高齢化が著しいスポーツ推進委員について、活性化を図ることが課題です。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	<p>健康スポーツライフ杉並プランに基づく、スポーツ始めキャンペーンのコンシェルジュ事業やさまざまなスポーツアカデミー修了者などと連携し、区民がスポーツを「始める」「続ける」活動や、スポーツによる人と人、人と地域の絆づくりを推進していきます。 スポーツ推進委員は、ボランティアセンターや民間スポーツクラブなどにも協力を呼びかけ、委員の増員に向けた取組を行うとともに、新任委員に対する研修・フォロー体制の充実を図り、より多くの区民が自主的・継続的にスポーツを行うことができる環境づくりに貢献していきます。</p>			

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00533)

事務事業名称		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団への助成				款	07	項	06	目	01	事業	002	整理番号	548		
現担当課名		スポーツ振興課		係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号		557			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業			
事務事業の概要	事業開始		平成 5年度														
	平成27年度担当課名		スポーツ振興課								事業評価区分		一般				
	対象		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団		根拠法令等		(1)		社会教育法第3、5条								
							(2)		スポーツ基本法第34条								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団が、その設立目的であるスポーツ振興に関する事業を活発に行うことができるよう、補助金を支出し、財団の安定的な運営に役立てる。		活動指標		指標名(1)		教室参加者数								
						指標説明		教室事業開催数									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、スポーツ振興に関する事業を実施するにあたり、必要な経費を助成する。「各種スポーツ教室・講座及び各種大会の運営に関する事業」、「スポーツ関係団体の育成・支援及び指導者の養成事業」、「スポーツ振興のための普及啓発事業」等を実施。		成果指標		指標名(1)		運動・スポーツをしていない人の割合									
						指標説明		区民意向調査による									
						指標名(2)		利用者満足度									
						指標説明		利用者満足度調査									
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)								
指標	活動指標(1)		1	教室	79,332	80,000	71,035	80,000	60,335	80,000	75.4						
	活動指標(2)		2	種目	183	230	218	304	242	300	79.6						
	成果指標(1)		3	%	40.0	27	27.7	26	24.6	24	94.6						
	成果指標(2)		4	%	82	85	83	85	77	85	90.6						
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	64,439	78,560	78,560	81,037	75,193	84,135	平成27年度予算執行率(%)	92.8					
	(内)投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費		7	千円	0	0	0	0	0	0							
	職員数	常勤職員数		8	人	0.30	0.30	0.30	0.40	0.40	0.40						
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分		11	千円	2,589	2,643	2,643	3,524	3,499	3,499						
		再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	67,028	81,203	81,203	84,561	78,692	87,634							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15	円	845	1,015	1,143	1,057	1,304	1,095							
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0								
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0								
差引:一般財源(14-20)		21	千円	67,028	81,203	81,203	84,561	78,692	87,634								
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	548	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		運営等補助		1	団体	75,193
		その他（ ）				
(2) 事業実績	公益財団法人杉並区スポーツ振興財団に対して、補助金を支出しました。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>昭和61年10月から任意団体の杉並区スポーツ振興会が、体育施設の管理運営を受託していましたが、平成5年10月に組織の法人化を図り、財団法人杉並区スポーツ振興財団として引続き体育施設の管理運営を行うとともに、より広範囲な区民のスポーツ活動を支援することになりました。</p> <p>平成18年度に区が体育施設に指定管理者制度を導入し、補助金のうち、施設の管理運営にかかる経費を別途支出することとしました。</p> <p>平成24年4月から、より公益性を高めるため公益財団法人に移行しました。</p> <p>平成26年10月にスポーツ振興財団として26年度から3年間の杉並区スポーツ推進プランを策定し、計画的に区民へのスポーツを推進していくこととしました。</p>				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	スポーツ振興財団と区の役割が分かりにくいという声があります。				
	今後の予測	2020年の東京でのオリンピック・パラリンピックの開催、健康意識の高まりなど、社会における運動・スポーツの必要性がますます高まっていくと予測されます。子供、高齢者、障害者など対象のニーズに応じた事業の提供を行うとともに、スポーツに関する地域の情報の収集・発信、人材育成など多くの区民が安全にスポーツ・運動を楽しめる環境整備していくことが求められています。				
評価と課題	地域スポーツ振興の担い手として、区から新たに移管された「ファミリー駅伝」や「区民歩こう会」を実施するとともにスポーツアカデミーの講座を拡大したことに加え、区のスポーツ分野の広報紙を新たに発行するなど、公益財団法人として公益性の高い事業を実施しました。今後は、地域スポーツの担い手として、公益性の高いスポーツ事業をより多く提供できるような体制をつくるため、組織のあり方等を見直すことが課題です。					
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・対象の見直し			
今後の進め方	<p>区のスポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」では、スポーツ振興財団を計画推進の最も重要な実施主体と位置付け、民間事業者と異なる視点で、地域スポーツ団体等をコーディネートしながら、公益性の高い事業を展開していくことが求められています。</p> <p>そこで、今後財団は、指定管理者制度の運用状況を見極めながら、施設管理を中心とした業務から、生涯にわたり区民が自主的・継続的にスポーツに親しめるような事業提供を中心とした業務へ運営方針を転換するとともに、組織体制、経営基盤などを見直していきます。</p>					

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00534)

事務事業名称		スポーツ推進計画				款	07	項	06	目	01	事業	003	整理番号	549
現担当課名		スポーツ振興課				係名		施設管理係		連絡先電話番号		1676		昨年度整理番号	558
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分		既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成24年度	実行計画事業 目標 05 施策 29 計画事業 01				主要事業(区政経営報告書掲載事業)								
	平成27年度担当課名	スポーツ振興課				事業評価区分					一般				
	対象	区民 スポーツ関係団体				根拠法令等		(1) スポーツ基本法第9条 (2)							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	スポーツ・運動が、区民により身近になることで健康維持に役立ち、さらに地域のつながり・交流に結び付くよう、スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。				活動指標		指標名(1) スポーツアカデミー参加者数(26年度新規) 指標説明 指標名(2) スポーツ始めキャンペーン参加延人数(27年度新規)							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	推進懇談会の意見等を踏まえ、杉並区スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を推進する。 スポーツ分野の人材育成プログラム「すぎなみスポーツアカデミー」を開催する。 総合型地域スポーツクラブの設立・運営支援を行う。 保健福祉分野と連携し、「スポーツ始めキャンペーン」を実施する。				成果指標		指標名(1) 成人の週1回以上のスポーツ・運動実施率 指標説明 指標名(2) 指標説明							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	0	230	203	260	288	280	110.8					
	活動指標(2)	2	人	0	0	0	250	162	750	64.8					
	成果指標(1)	3	%	41.1	40	41.7	42	44.6	45	106.2					
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,076	4,807	3,342	5,672	4,764	6,072	平成27年度 予算執行率(%)	84.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	615	3,825	3,246	4,202	3,670	4,652						
	職員数	常勤職員数	8	人	1.06	0.50	0.40	0.60	1.10	1.10					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	9,148	4,405	3,524	5,286	9,622	9,622					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	405	414	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	11,224	9,212	6,866	11,363	14,800	15,694						
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	0	40,052	33,823	43,704	51,389	56,050						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	1,327	1,578					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	1,327	1,578						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	11,224	9,212	6,866	11,363	13,473	14,116						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

		整理番号		549	
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		スポーツアカデミーの運営			
		スポーツ始めキャンペーンの実施			747
		その他（ ）			757
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	<p>すぎなみスポーツアカデミーは指導者、コーディネーター、小学生親子、障害者スポーツ推進者への講座に加えて、新たに修了者を対象としたフォロー研修を開催しました。また、総合型地域スポーツクラブの支援については、既存のクラブの運営支援に加え、制度の周知を図るため、すぎなみフェスタでのテント出店や、区役所ロビーでのパネル展示を行いました。さらに平成27年度から、健康づくり推進期間に合わせ、日頃スポーツ・運動を行っていない人を対象にきっかけづくりとなる「スポーツ始めキャンペーン」を区内3体育施設で実施しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>基本構想・総合計画及び教育ビジョン2012に基づき、平成23年8月に施行された「スポーツ基本法」に定める地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（地方スポーツ推進計画）を策定することとされています。また、区民の健康意識の高まりとともに、平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したこともあり、区民のスポーツ・運動への関心が高まっています。</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>スポーツ推進計画を実現してほしいとの声が寄せられたほか、地元のトップアスリートと連携した事業の展開、誰もが参加しやすいようなスポーツ・運動機会の充実、指導者の養成、民間施設の活用も含めた体育施設の整備などに意見が多く寄せられました。</p>			
	今後の予測	<p>スポーツ推進計画「健康スポーツライフ杉並プラン」の推進に向け、新たに実施した「すぎなみスポーツアカデミー」「スポーツ始めキャンペーン」を充実していくとともに、計画に掲げた事業を着実に実施していきます。推進にあたっては、スポーツ関係の有識者・トップアスリートなどからなる推進懇談会で意見を聴取するとともに、関連部署と連携しながら取り組んでいきます。</p>			
評価と課題		<p>すぎなみスポーツアカデミーは、平成27年度新たに修了者に対するフォロー研修を開催し、学習や実践の継続に対する必要性を指導者が再確認する場となるとともに、指導者相互の交流にも活かされています。今後は、各種スポーツ教室や中学校部活動などで修了者の地域での活用を促すなど、活躍の場を提供していきます。総合型地域スポーツクラブについては、制度の認知度を高めるとともに、区民の自主的・主体的な活動を支援しました。今後は、将来的に中学校運動部活動との連携も視野に入れた、新たな総合型地域スポーツクラブの立上げを支援していきます。さらに、「スポーツ始めキャンペーン」については、平成27年度の実績を踏まえ、スポーツ・運動をしていない人がより多く参加できるよう、実施施設を拡大するとともに、プログラムを充実していきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>計画の見直しを行う平成29年度に向け、計画の進行管理や実施した事業の評価を行い、計画の目指す将来像「始める続ける広がるスポーツを通じた絆のあるまち」の実現に向け検証を行います。主要事業であるすぎなみスポーツアカデミー、スポーツ始めキャンペーンの充実を図るとともに、総合型地域スポーツクラブの立ち上げを始め、計画に掲げた事業を、着実に進めていきます。</p>				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00670)

事務事業名称		次世代トップアスリートの育成			款	07	項	06	目	01	事業	004	整理番号	550	
現担当課名		スポーツ振興課		係名	事業係			連絡先電話番号	1674		昨年度整理番号	559			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分	臨時事業		
事務事業の概要	事業開始	平成26年度			主要事業(区政経営報告書掲載事業)										
	平成27年度担当課名	スポーツ振興課			事業評価区分 一般										
	対象	次世代のトップアスリートを目指す青少年等			根拠法令等	(1)		杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会設置要領							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、次世代のトップアスリートを目指す青少年等を地域ぐるみで育成・支援することで、オリンピック・パラリンピック競技大会への気運を高め、地域を活性化するとともに、青少年の健全育成を図る。			活動指標	指標名(1)		次世代トップアスリート育成・支援検討会の開催							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	杉並区次世代トップアスリート育成・支援検討会元オリンピック選手からの実技指導、パラリンピック種目体験などを通じて、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶとともに、新たな高みへチャレンジするきっかけを提供する「育成プログラムによる環境づくり(チャレンジ・アスリート)」を行う。			指標説明	指標名(2)									
成果指標	指標名(1)		指標説明		指標名(2)		事業参加者数 共通科目、選択科目、公開講座の参加者数合計								
区分	単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	回	2	2	2	0	1	0.0						
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	人	70	74	80	54	85	67.5						
	成果指標(2)	4													
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	6,000	3,398	6,000	3,332	6,000	平成27年度 予算執行率(%)	55.5					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	734	322	772	715	0							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.60	0.65	0.60	0.59	0.65						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	5,286	5,727	5,286	5,161	5,686						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	11,286	9,125	11,286	8,493	11,686							
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,643,000	4,562,500	5,643,000	0	11,686,000							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	801	1,500						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	801	1,500							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	11,286	9,125	11,286	7,692	10,186							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	550
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		チャレンジ・アスリートの実施（スポーツ職場見学含む）	5	日	2,841
		実施報告書の印刷	600	部	491
		その他（ ）			
平成27年度の事業実施状況	(2) 事業実績	夢に向かって、自らの意思でスポーツを選びチャレンジする子どもを育成するため、スポーツ、オリンピック・パラリンピックを総合的に学ぶ「チャレンジ・アスリート」を平成28年1・2月に開催し、区内の小中学生を対象にして、元オリンピック選手との交流体験やパラリンピック種目体験を実施しました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成25年9月に2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定するとともに、杉並区スポーツ振興計画「健康スポーツライフ杉並プラン」を策定しました。また、平成26年度に次世代トップアスリート育成・支援検討会を行い、基礎自治体としての取組は、ごく一部のスポーツ・エリート育成ではなく、誰もが参加可能な育成プログラムによる環境づくりを行うこと、将来的に国際大会等への出場支援を検討すること、次世代育成基金の更なる充実を視野に入れること、を確認しました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	国際大会等への参加費支援などスポーツを極める子どもたちへの直接的な支援や、子どもを取り巻く指導者の質の向上を求める声が上がっています。チャレンジ・アスリート事業については、参加対象の拡充を求める声や、より多くの子どもたちが参加しやすい事業実施への意見が寄せられています。			
	今後の予測	リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの開催に伴い、オリンピック・パラリンピック、スポーツ全般への区民の関心が高まることが予想されます。			
	評価と課題	元オリンピック選手や障害者アスリート、アスリートを支える大人たちとのふれあいにより、子どもたちがスポーツへの夢を抱き、スポーツの楽しさやスポーツのもつ可能性を再確認する機会となっています。対象年齢や開催日程などにより、参加を断念せざるをえなかったとの声も多く寄せられていることから、今後は、実施内容の見直しを行い、より多くの子どもたちに参加の機会の拡充を図っていきます。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	育成プログラムによる環境づくり（チャレンジ・アスリート）について、より多くの方が参加できるよう、実施時期やプログラム内容、対象者を見直します。また、子どもたちがより良い指導が受けられるよう、すぎなみスポーツアカデミーによる指導者養成の充実を図ることで、ジュニア期のスポーツ環境の向上に寄与していきます。育成プログラムにより環境づくりを行う中で育ってきた子どもたちの可能性を更に広げるため、国や都のジュニアアスリート育成・支援策の動向を踏まえたうえで、国際大会等への参加支援などスポーツを極める子どもたちへの直接的な支援策についても検討を進めていきます。				

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	552
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		管理運営（指定管理者）高円寺体育館ほか3施設	4	施設	140,402
		管理運営（指定管理者）上井草スポーツセンター	1	施設	174,519
		管理運営（指定管理者）大宮前体育館	1	施設	140,923
		管理運営（指定管理者）高井戸温水プール	1	施設	98,225
		その他（維持管理経費、業務委託費ほか）			342,628
	(2) 事業実績	<p>指定管理者制度導入施設7施設、業務委託施設9施設、公園併設の4施設の管理運営業務を行うとともに、都と協定を結び、都立高校の体育館を区民のスポーツ活動の場として活用しました。また、上井草スポーツセンター及び杉十小学校温水プールのトイレの洋式化などの工事を行い、利用者の利便を図りました。</p> <p>なお、暫定開放を行っていた富士見ヶ丘運動場と久我山運動場は、平成27年5月で閉場しました。</p>			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
	評価と課題	<p>平成28年度末に指定管理期間が満了を迎える施設、あわせて平成28年10月に開館する改築中の妙正寺体育館など、28年度に選定が必要な体育施設6施設について、規模、地域などを考慮し、スケールメリットを活かして効率的・効果的な運営ができるよう、3つのエリアにグループ化して、指定管理業者に運営を委ねる方針を取りまとめました。</p> <p>今後は、効率的な運営やサービスの向上を図るため、中央部エリアと南部エリアについて指定管理者を選定し着実な管理運営を行うことが課題です。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性			
		II 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成28年度杉並区事務事業評価表(1)

(00537)

事務事業名称		妙正寺体育館の改築				款	07	項	06	目	03	事業	003	整理番号	553		
現担当課名		スポーツ振興課		係名		体育施設改築準備担当		連絡先電話番号		1678		昨年度整理番号		561			
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分				投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成24年度		実行計画事業		目標 05		施策 29		計画事業 02		主要事業(区政経営報告書掲載事業)				
	平成27年度担当課名		スポーツ振興課										事業評価区分		一般		
	対象		施設利用者(区民、団体等)				根拠法令等		(1)		スポーツ基本法第12条						
									(2)		杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)		妙正寺体育館を改築する。				活動指標		指標名(1)		実施設計進捗率						
								指標説明		改築工事進捗率							
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)		平成24年度に基本方針の策定、地盤調査・測量、基本設計を行う。 平成25年度に実施設計を行う。 平成26年度は解体工事・埋蔵文化財発掘調査を行い、建設工事に着手する。 平成28年度、竣工・供用開始予定。				成果指標		指標名(1)		改築工事進捗率							
								指標説明									
								指標名(2)									
								指標説明									
区分		単位		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成27年度					
				実績		計画		計画(目標値)		実績		計画		対計画比(%)			
指標	活動指標(1)		1 %		100		0		0		0		0		0.0		
	活動指標(2)		2 %		0		20		20		84		81		100		
	成果指標(1)		3 %		0		20		20		84		81		100		
	成果指標(2)		4														
総事業費・コスト把握	事業費		5 千円		30,714		414,028		411,733		547,700		547,276		760,095		
	(内)投資的経費等		6 千円		30,714		414,028		411,733		547,700		546,997		721,198		
	(内)委託費		7 千円		30,714		413,428		411,733		547,100		546,997		721,198		
	職員数	常勤職員数		8 人		0.10		0.10		0.00		0.00		0.00		0.00	
		再任用職員数		9 人		1.00		1.00		0.80		1.00		1.02		1.00	
		非常勤職員数		10 人		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00		0.00	
	人件費	常勤職員分		11 千円		863		881		0		0		0		0	
		再任用職員分		12 千円		3,860		4,050		3,240		4,050		4,222		4,139	
		非常勤職員分		13 千円		0		0		0		0		0		0	
	総事業費(5+11+12+13)		14 千円		35,437		418,959		414,973		551,750		551,498		764,234		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)		15 円		47,230		0		0		0		0		0		
	財源	受益者負担分		16 千円		0		0		0		0		0		0	
		国からの補助金等		17 千円		0		0		0		0		0		0	
		都からの補助金等		18 千円		0		0		5,170		0		94,830		13,810	
その他の補助金等		19 千円		0		0		0		0		0		0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円		0		0		5,170		0		94,830		13,810			
差引:一般財源(14-20)		21 千円		35,437		418,959		409,803		551,750		456,668		750,424			
受益者負担比率(16÷14)		22 %		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 553

		内 容	規模	単位	事業費（千円）
平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	改築工事			539,600
		工事監理委託			6,899
		道路測量			600
		検査旅費の支給ほか			177
		その他（ ）			
(2) 事業実績	老朽化した妙正寺体育館の平成28年10月のリニューアルオープンに向け、改築工事を進めました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成25年度は、改築を行う敷地の測量調査・登記及び地盤調査を行いました。基本計画、基本設計、既存建物解体工事、改築工事に関する住民説明会をそれぞれ開催し、近隣との調整を図りました。また、26年度から改築工事に着手し、27年度は改築工事を進めました。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	現在の良好な生活環境が確保される改築が求められています。改築に合わせて施設機能の充実を図り、地域のスポーツの拠点として、高齢者の健康増進や子どもたちの体力向上の場としての役割を担う施設の建設が求められています。			
	今後の予測	平成28年7月に竣工、10月にリニューアルオープンします。			
評価と課題	改築工事にあたっては周辺の良好な生活環境を確保するよう、近隣との調整を図り安全な工事監理に努めました。また、指定管理者選定委員会を設置し、施設開設に向けた準備を進めました。今後、平成28年10月の施設開設に向け引き続き工事監理を行うとともに、高齢者の健康増進や子供たちの体力向上などに資する施設となるよう、小体育室などの新たな施設設備を活用した運営方法等について、指定管理者と協議していくことが課題です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	平成28年10月の開館に向けて、施設運営に必要なスポーツ器具や家具備品等の整備を進めます。また、新しく設置した小体育室や充実した設備を十分に活用した運営方法について、指定管理者と協議し協定の締結を行います。			

平成28年度杉並区事務事業評価表（1）

（00671）

事務事業名称		永福体育館の移転改修				款	07	項	06	目	03	事業	004	整理番号	554	
現担当課名		スポーツ振興課		係名		体育施設改築準備担当係長			連絡先電話番号		1678		昨年度整理番号		562	
上位施策No・施策名										29 学びとスポーツで世代をつなぐ豊かな地域づくり		予算事業区分				投資事業
事務事業の概要	事業開始		平成26年度	実行計画事業		目標	05	施策		29	計画事業		02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）		
	平成27年度担当課名		スポーツ振興課											事業評価区分		一般
	対象		施設利用者（社会体育団体登録構成員、個人登録者等）			根拠法令等		(1)		スポーツ基本法第12条						
								(2)		杉並区体育施設等に関する条例及び同施行規則						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）		永福体育館を旧永福南小学校に移転改修し、誰もが利用しやすいバリアフリーに配慮した地域スポーツ活動の拠点として整備する。			活動指標		指標名（1）		実施設計進捗率						
							指標説明		測量調査進捗率							
							指標名（2）		地盤調査進捗率							
							指標説明		実施設計進捗率							
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）		平成26年度に地盤及び測量調査を行う。 平成27年度に実施設計を行う。 平成28年度に校舎解体・改修工事に着手する。 平成30年度に竣工・供用開始予定。			成果指標		指標名（1）		地盤調査進捗率							
							指標説明		実施設計進捗率							
							指標名（2）		実施設計進捗率							
							指標説明		実施設計進捗率							
区分		単位	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標（1）	1	%	100	100	100	100	100	100.0							
	活動指標（2）	2	%	100	100	0	0	0	0.0							
	成果指標（1）	3	%	100	100	0	0	0	0.0							
	成果指標（2）	4	%	100	100	100	100	0	100.0							
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	2,500	1,754	29,815	29,676	486,240	平成27年度 予算執行率(%)	99.5						
	(内) 投資的経費等	6	千円	2,500	1,754	29,815	29,676	486,240	特記事項							
	(内) 委託費	7	千円	2,500	1,754	29,815	29,676	485,840								
	職員数	常勤職員数	8	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
		再任用職員数	9	人	0.00	0.20	1.00	1.00	1.00							
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00							
	人件費	常勤職員分	11	千円	0	0	0	0	0							
		再任用職員分	12	千円	0	810	4,050	4,139	4,139							
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	2,500	2,564	33,865	33,815	490,379								
	単位当たりコスト (14-6)÷1	15	円	0	8,100	40,500	41,390	41,390								
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	437,000								
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	437,000								
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	2,500	2,564	33,865	33,815	53,379								
受益者負担比率 (16÷14)	22	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成28年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 554

平成27年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	実施設計		
(2) 事業実績	永福体育館を旧永福南小学校体育館へ移転改修し、地域スポーツの拠点として整備するため実施設計を行いました。永福体育館の移転改修においては、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて、国際規格のビーチコートを設置することとしました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	住民説明会を開催するとともに、地域や近隣住民との調整を図りました。また、平成26年度に永福体育館を移転改修する旧永福南小学校の敷地について地盤調査及び測量調査を実施し、平成27年度は移転改修に向けて実施設計を行いました。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	一部の地域住民からは、地域の核となる施設にするだけでなく、運営も地域のグループが一部携わることが望む声も寄せられています。良好な生活環境が確保されるよう、振動や騒音、工事車両の出入り等を厳重に注意して工事を進めることが求められています。地域のニーズを取り入れ施設機能の充実を図り、地域のスポーツ拠点として子どもから高齢者及び健常者だけでなく障害者も利用できる施設が求められています。
	今後の予測	平成30年度竣工、供用に向けた取組を着実に進めていきます。
評価と課題		永福体育館については、移転改修工事の実施設計を行いました。今後の保育需要数等の見込みを踏まえ、旧永福南小学校跡地の一部に保育施設を整備するため、設計を一部変更した上で、開設に向けた取組を着実に進めていきます。

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	地域に親しまれる体育施設となるよう、近隣住民や利用者の意見を踏まえ改修工事に着手するとともに、平成30年度の供用開始に向けて、今後の運営方法についても検討していきます。	